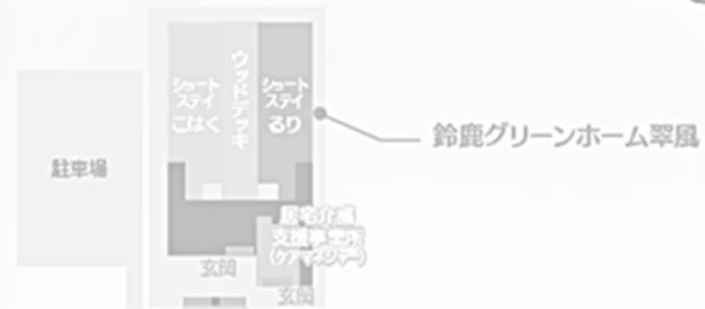


鈴鹿グリーンホームの 介護現場革新の取り組み



鈴鹿グリーンホーム



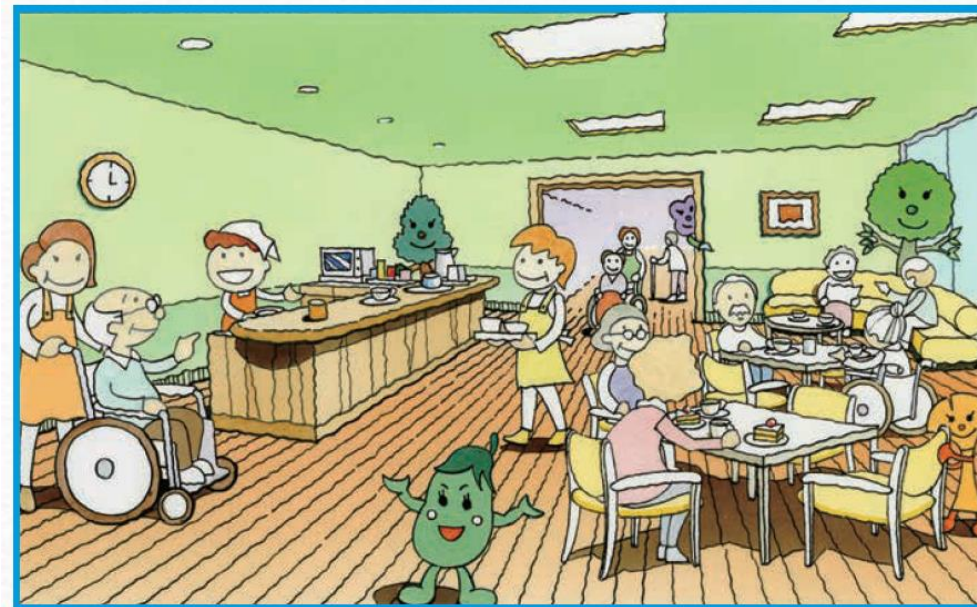
常に介護が必要で、ご自宅での生活が困難な方が入居し、個別ケアプラン(介護計画)に基づいた日常生活全般の支援を行います。(原則要介護3の方)

暮らす

➤ 特別養護老人ホーム
(1ユニット個室80床・8ユニット)



鈴鹿グリーンホーム



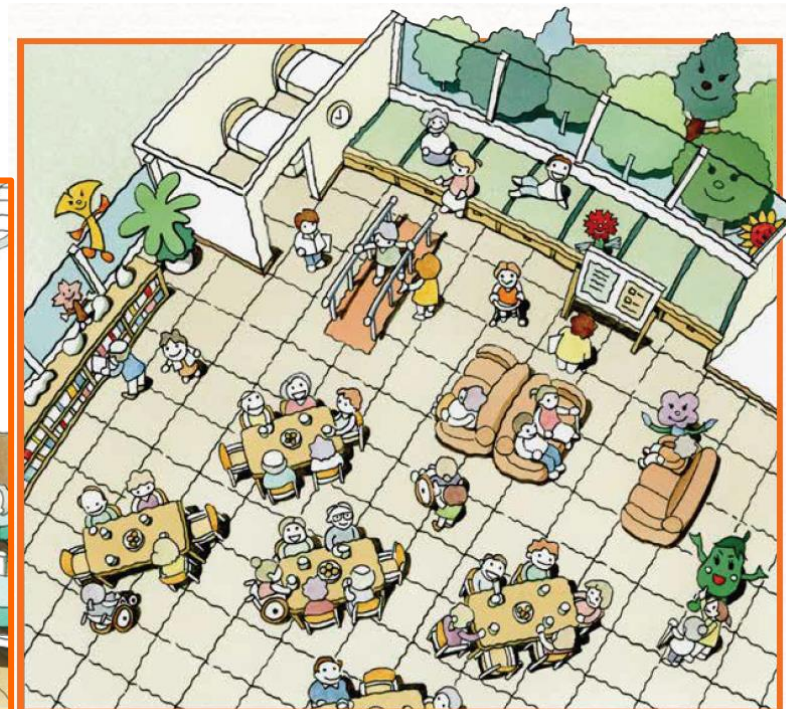
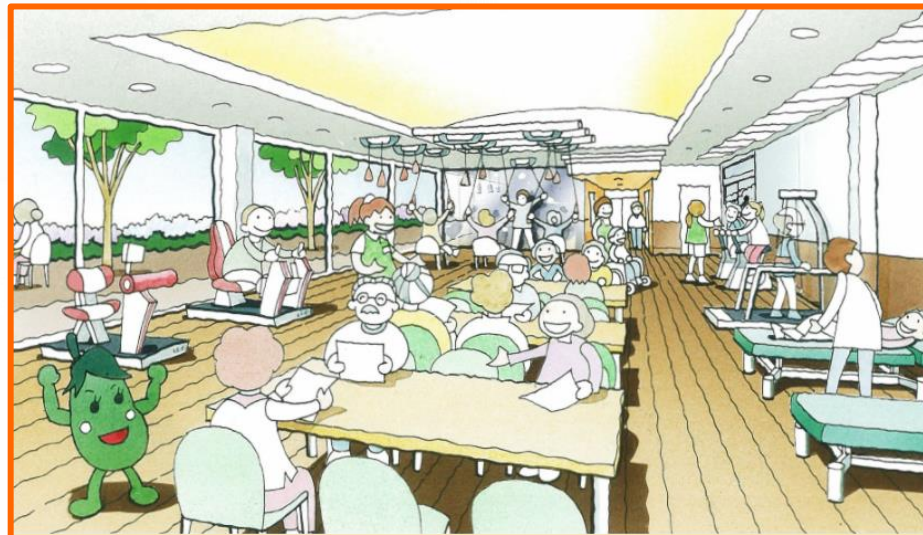
泊まる

➤ ショートステイ
(1ユニット個室10床・1ユニット)

介護をしている家族が、冠婚葬祭や病気・出産、休養や旅行等により、一時的に自宅での介護が出来なくなったときに、1泊2日から1月程度ご利用していただけます。(要支援・要介護対象)



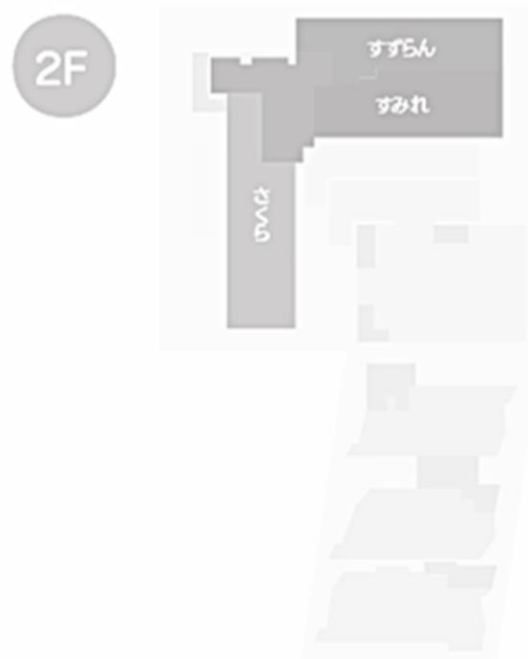
鈴鹿グリーンホーム



通う ▶ デイサービスセンター (定員70名)

送迎、健康チェック、日常生活上の介護、入浴、機能訓練、食事・おやつ、アクティビティ(レクリエーション)など、ご本人に応じたケアやメニューを提供します。(要支援1・2、要介護1～5、総合事業対象者の方)

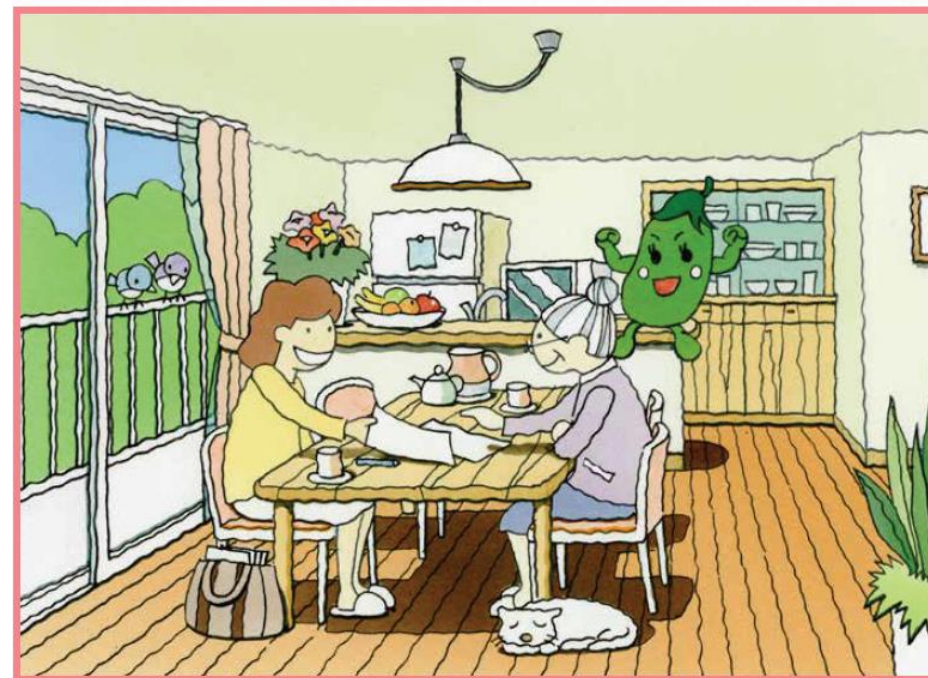


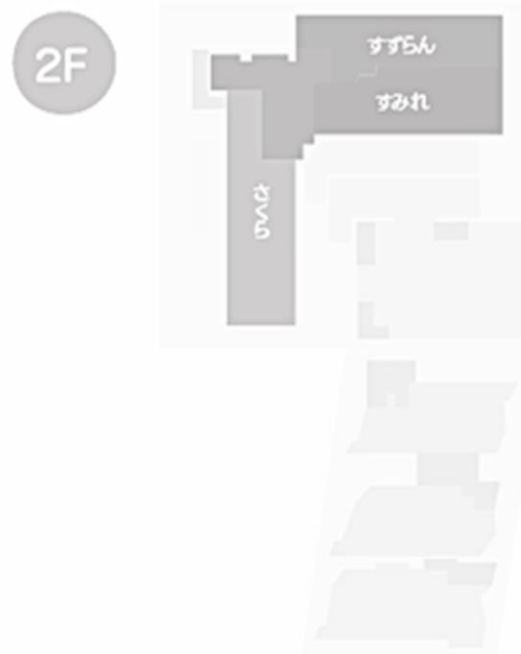
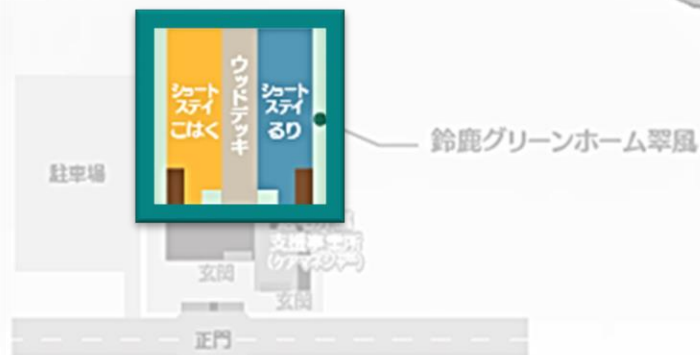


ケアプラン

➤ 居宅介護支援事業所 (ケアマネジャー)

ケアマネジャー(介護支援専門員)の資格を持った職員が、ご本人の心身の状況やご家族のご希望に沿ったケアプラン(介護サービス計画)を作成します。サービス事業者への連絡調整や利用の手配などを行います。

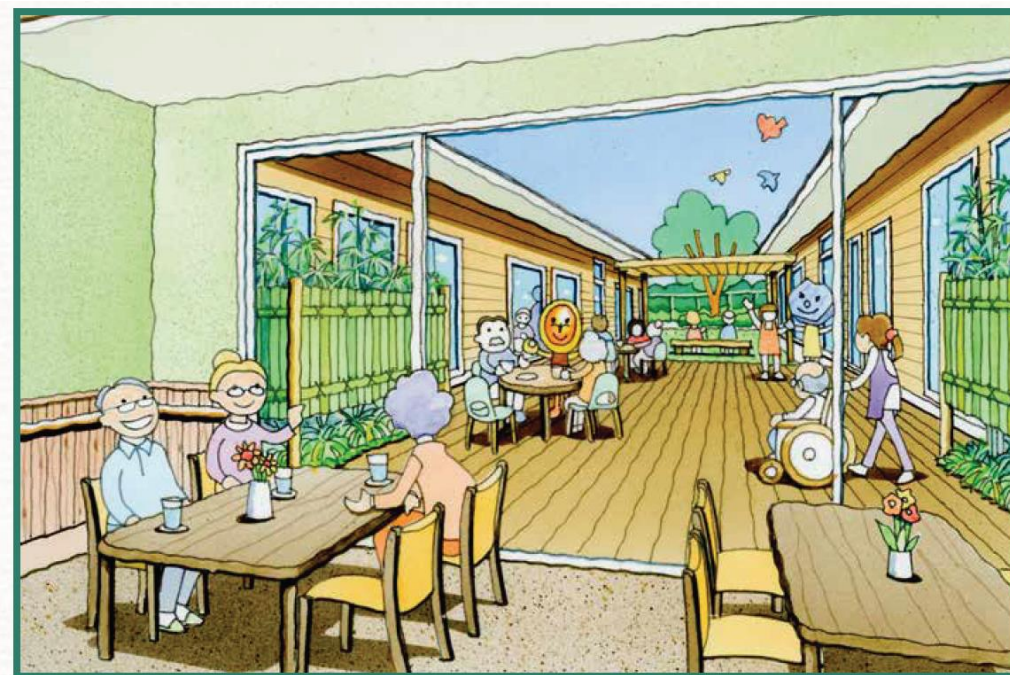




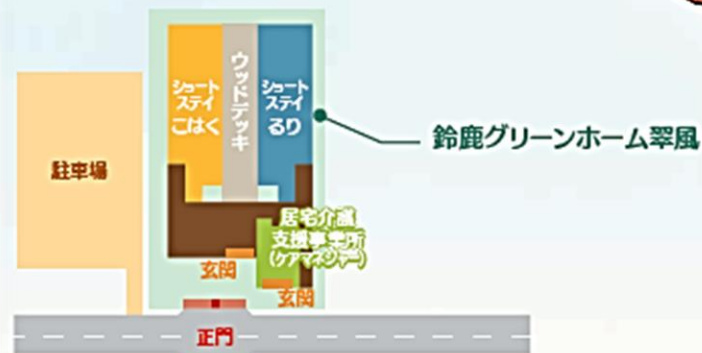
泊まる

➤ ショートステイ
(1ユニット個室20床・2ユニット)

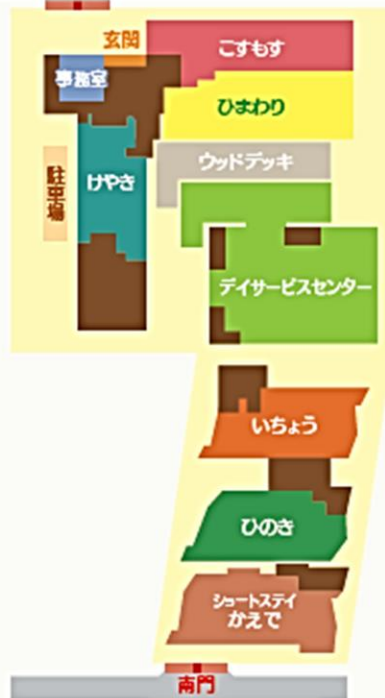
介護をしている家族が、冠婚葬祭や病気・出産、休養や旅行等により、一時的に自宅での介護が出来なくなったときに、1泊2日から1月程度ご利用していただけます。(要支援・要介護対象)



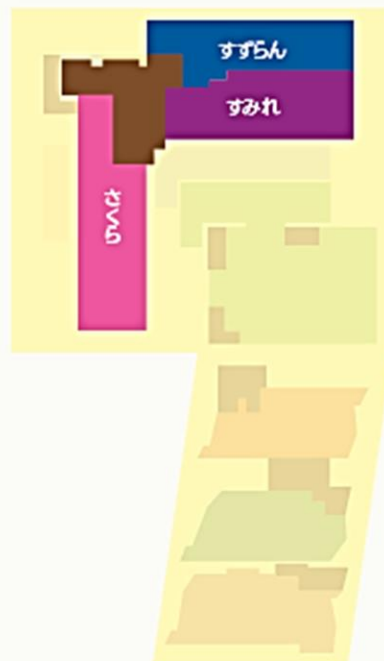
鈴鹿グリーンホーム



1F



2F



泊まる

➢ ショートステイ
(1ユニット個室20床・2ユニット)

ケアプラン

➢ 居宅介護支援事業所
(ケアマネジャー)

暮らす

➢ 特別養護老人ホーム
(1ユニット個室80床・8ユニット)

泊まる

➢ ショートステイ
(1ユニット個室10床・1ユニット、共生型短期入所指定)

通う

➢ デイサービスセンター
(定員70名・共生型生活介護指定)

地域
生活を
支える

➢ フレイル予防デイリーアクションプログラム
【鈴鹿市受託事業、地域住民対象 介護予防教室】※地域(公民館等) 又はデイサービスで開催(Webも可能)

「6つの高齢者福祉・支援サービス」⁷



- ケアプラン作成
- デイサービスの利用
- ショートステイの利用
- 介護予防教室への参加
- 特別養護老人ホームの入居 など

介護に関するご相談をお受けいたします

鈴鹿グリーンホームの介護サービスの特徴

介護ロボット・介護機器 (テクノロジー)の活用

職員の腰痛予防（装着型ロボット）

HAL[®]（パワースーツ）



特別養護老人ホーム 1台(2017年導入～2022.4(使用期限満了につき返却))

職員の腰痛予防（装着型ロボット）

マッスルスーツ(パワースーツ)



特別養護老人ホーム 1台(2018年導入)



職員の腰痛予防（装着型ロボット）

J-PAS（パワースーツ）

ショートステイの送迎業務にも使用



特別養護老人ホーム・ショートステイ 1台(2021年導入)



職員の腰痛予防（非装着型ロボット）

i-PAL(アイパ°ル)



特別養護老人ホーム 1台(2017年導入)

職員の腰痛予防（非装着型ロボット）

SASUKE(サスケ)



特別養護老人ホーム 1台(2021年導入)



職員の腰痛予防（介護機器）

電動リフト (居室で使用)



特別養護老人ホーム・ショートステイ 計3台(2011年～導入)

職員の腰痛予防（介護機器）

電動リフト
(浴室で使用)



特別養護老人ホーム・ショートステイ 5台(2014年～導入)



職員の腰痛予防（介護機器）

電動リフト
(スカイリフト、トイレで使用)



デイサービスセンター 1台(2021年導入)



職員の腰痛予防（機械式浴槽）

機械式個浴



特別養護老人ホーム・デイサービスセンター 計6台(2008年～導入)

職員の腰痛予防（機械式浴槽）

車いす式
機械浴



特別養護老人ホーム・デイサービスセンター
計2台(1994年～導入)

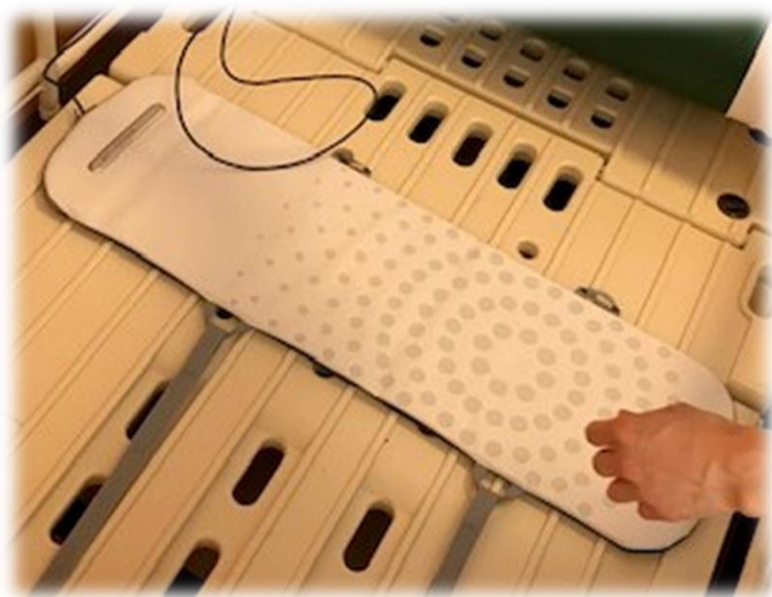
寝台式機械浴



特別養護老人ホーム 1台
(1994年～導入)

見守り支援（マット系センサーロボット）

眠りSCAN（訪室回数軽減、夜勤負担軽減）



睡眠・覚醒、脈拍、呼吸、臥位・座位、睡眠グラフ
を手元端末でリアルタイム確認

1時間ごとに介護記録ソフトに自動記録

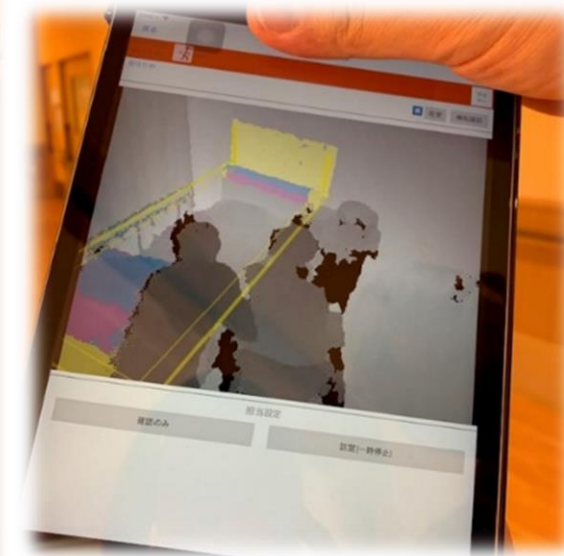
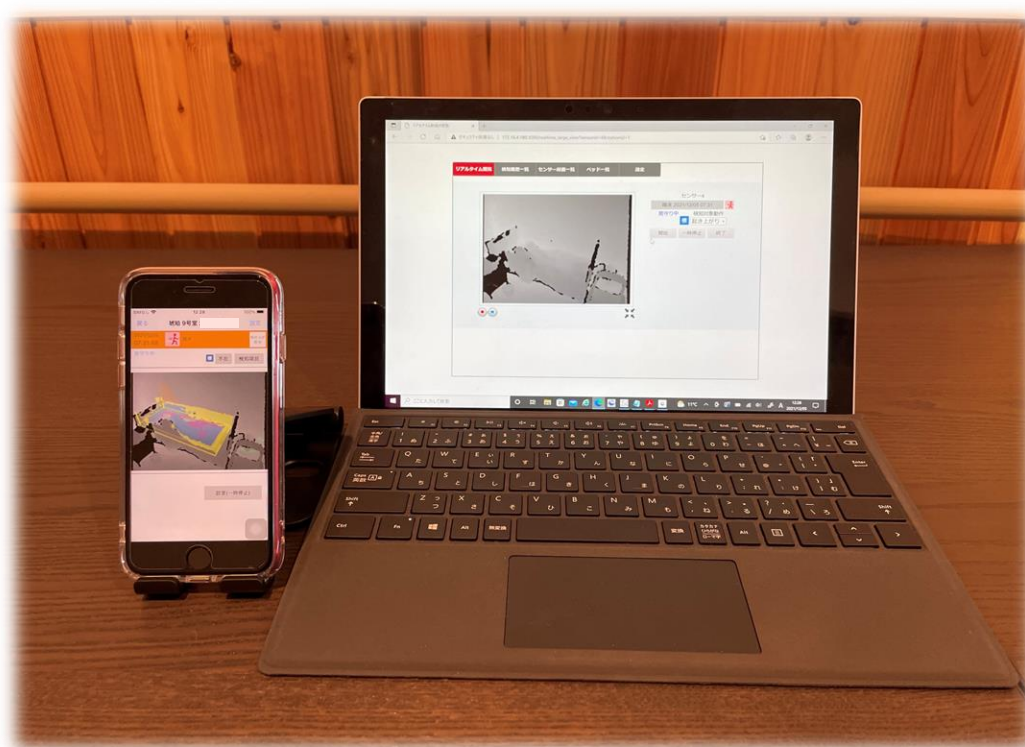
特別養護老人ホーム・ショートステイ 計15台(2018年導入)



見守り支援（カメラ系センサーロボット）

Neos+Care

（シルエット機能付、訪室回数軽減、夜勤負担軽減）



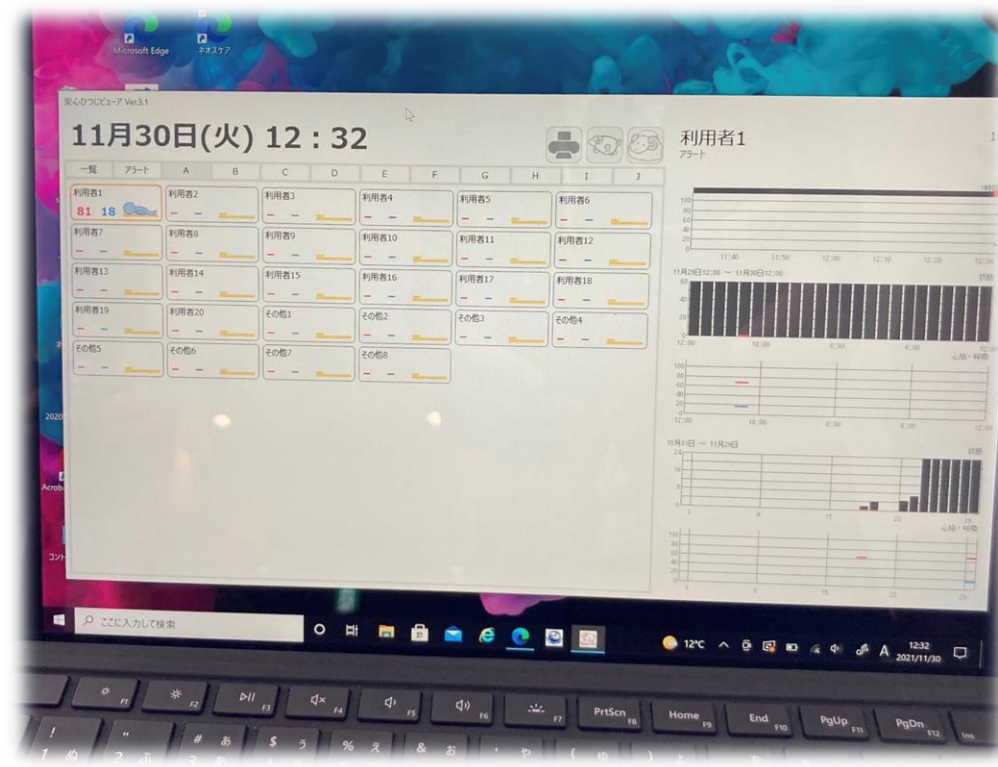
特別養護老人ホーム・ショートステイ・ショートステイ翠風 計16台(2020年・2021導入・
2023年増台予定)



見守り支援（マット系センサーロボット）

安心ひつじα

（ナースコール機能付、訪室回数軽減、夜勤負担軽減）



ショートステイ翠風 30台(2021年導入)



見守り支援・介護業務支援（カメラ系センサーロボット）

HitomeQケアサポート

（訪室回数軽減、夜勤負担軽減、利用者状況把握）

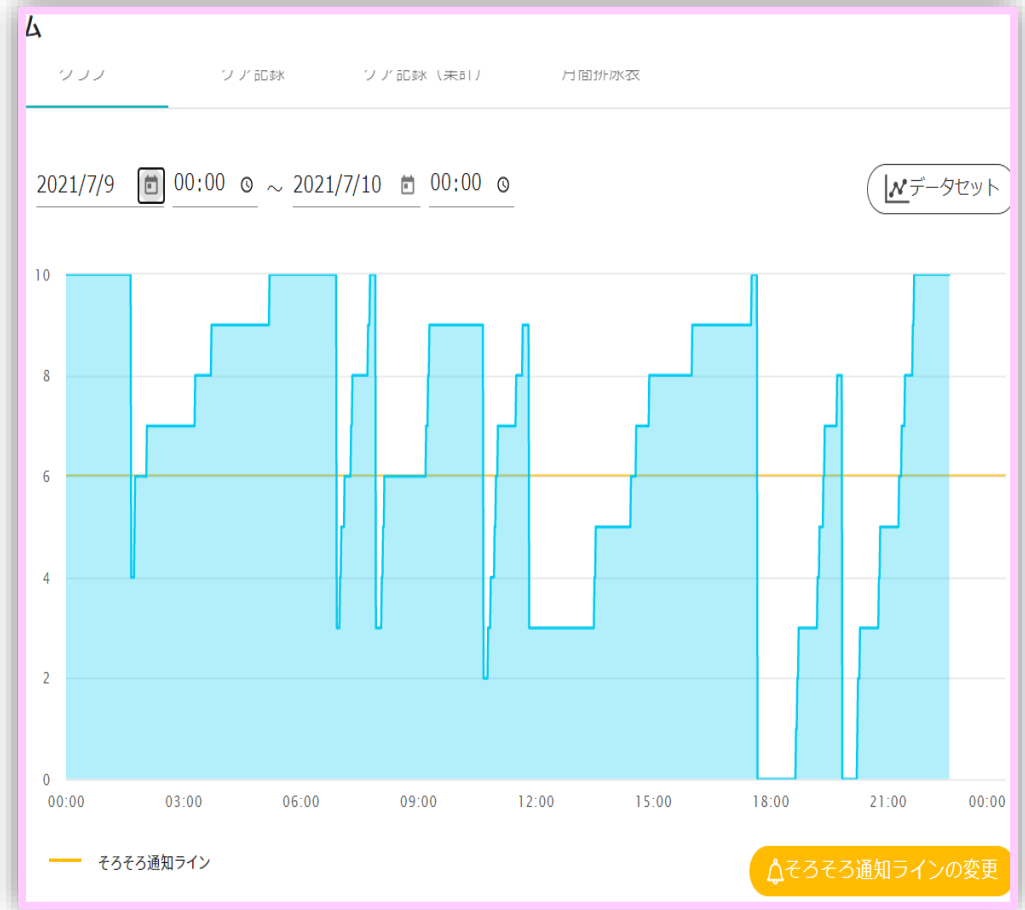


ショートステイ翠風 10台(2021年・2022年使用・2022年導入)

排せつ予測（介護ロボット）

Dfree

（排せつ介助負担軽減）



特別養護老人ホーム・ショートステイ 1台(2020年導入)



コミュニケーション（介護ロボット）

メンタルコミット ロボ
パロ



特別養護老人ホーム 1台(2017年導入)

情報通信技術 (ICT)

BlueOceanNOTE II Wiseman

(介護ソフト・記録業務負担軽減)

厚生労働省「科学的介護情報
システム LIFE(旧CHASE)」
(2020.5～)

全職員がPC・Surfaceで記録



全部署 計29ライセンス(2019年導入)



情報通信技術 (ICT)

デジタル体温計・デジタル血圧計 (記録業務負担軽減)

測定した体温・血圧は
介護ソフトに自動記録



特別養護老人ホーム・ショートステイ 各6台(2020年導入)

情報通信技術 (ICT)

インカム

(情報伝達・情報共有)



職員全員がインカムを装着することで、
情報連携・情報共有だけでなく、職員の精神的な負担も軽減

全部署 計69台(2019年～導入)



情報通信技術 (ICT)

VoiceFun

(アプリ・記録業務負担軽減)



ケアマネジャーの帳票記録は
音声で入力

居宅介護支援 6ライセンス(2018年導入)

AGEphone

(スマートフォン用内外線通話アプリ)



見守り支援機器viewer(2機種)
とのワンデバイス化

ショートステイ翠風 4台(2021年
softphone導入→2022年変更)



情報通信技術 (ICT)

NAS (Network Attached Storage)

モバイルWiFiルーター

(情報共有・事務負担軽減)

各部署の端末からアクセス
外部からの接続可能(VPN)



LINEオープンチャット

(職員への情報伝達・情報共有)

全部署(2018年・2021年・2022年導入)



情報通信技術 (ICT)

X'ion

(アプリ・ICカード労務管理・勤務管理業務負担軽減)

申請、承認はオンライン上で



全部署 計3台(2020年・2021年導入)



情報通信技術 (ICT)

Nintendo Switch (eスポーツ・アクティビティ)

新しいアクティビティにチャレンジ！
今後、様々なアプリの活用を検討



デイサービスセンター 1台(2022年導入)



テクノロジー活用【レベル1：介護ソフトの活用による介護看護記録・1端末化・自動記録】

①介護ソフト 「BlueOceanNoteⅡ」

②血圧測定記録

自動記録

自動記録

②体温測定記録

手元端末 確認

手元端末 確認

②見守り支援ロボット「Neos+Care」情報

②見守り支援ロケット 「安心ひつじα」情報

②見守り支援機器 「眠りSCAN」情報

自動記録

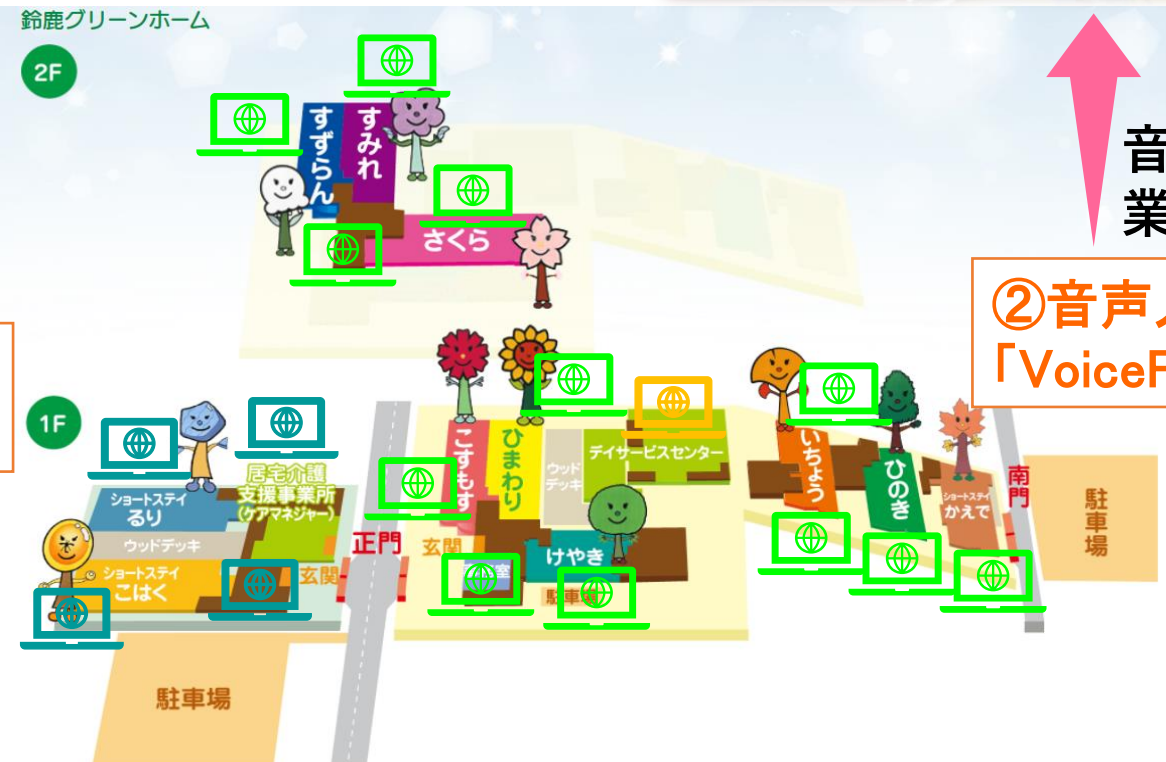
01:00  睡眠状态

01:00,[記錄]呼吸数:42
回/時,呼吸数:88回/時,呼
吸数:69.97回/時,心拍
数:44回/時,心拍数:51回/
時,心拍数:46.5回/時,活
動量:0,活動量:726,活動
量:202.63,離床:1回/時,
離床:2分,覺醒:3回/時,覺
醒:40分,睡眠:2回/時,睡
眠:18分

①介護ソフト「ワイズマン 在宅ケアマネジメント支援シス テム」

音声による 業務記録

②音声入力ソフト「VoiceFun」



テクノロジー活用【レベル1：WiFi・NAS(Network Attached Storage、ネットワークHDD)、Eメール等の活用による情報伝達・情報連携・事務処理】

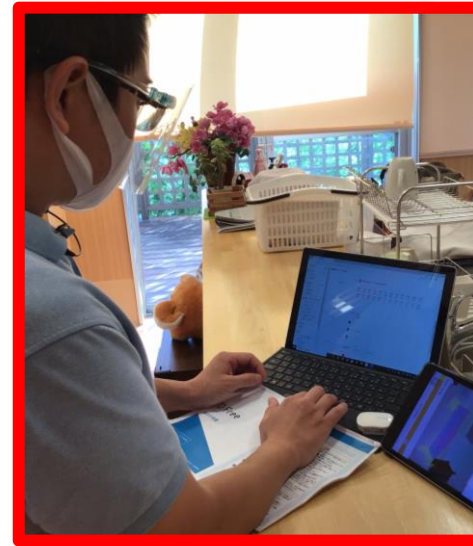


テクノロジー活用【レベル3：ICTと介護ロボットの組み合わせ①】

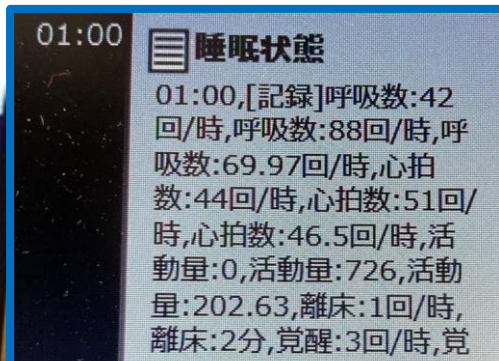
- ①排せつ予測デバイス「Dfree」
→膀胱内尿量を「viewer」手元端末で確認
- ②見守り支援機器眠りSCANの
「viewer」→睡眠・覚醒状況をリアルタイムで確認
- ③1時間ごとに呼吸数、心拍数、離床回数・時間、覚醒回数・睡眠回数・時間を介護ソフトに自動的に記録

尿量と覚醒状況を確認し、排せつ支援

- 訪室回数の減少
- トイレ誘導時の排せつ率向上



③介護ソフト

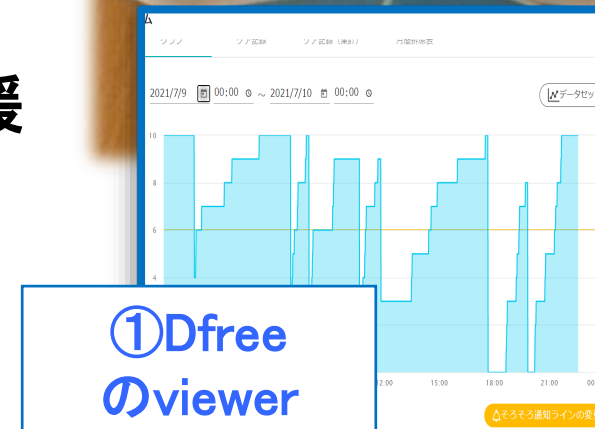


③眠りSCANデータの自動記録

②眠りSCANのviewer

①Dfree

②眠りSCAN



テクノロジー活用【レベル3：ICTと介護ロボットの組み合わせ②】

①安心ひつじ αのviewer

出典:株式会社Iジョイ HP

①ナースコール機能付き見守り支援機器 「安心ひつじα」

- ・ナースコール「viewer」を手元端末で確認
- ・呼吸、心拍(離臥床、体動)を「viewer」手元端末で確認

②見守り支援機器「Neos+Care」の 「viewer」→離臥床、体動を手元端末で リアルタイム確認

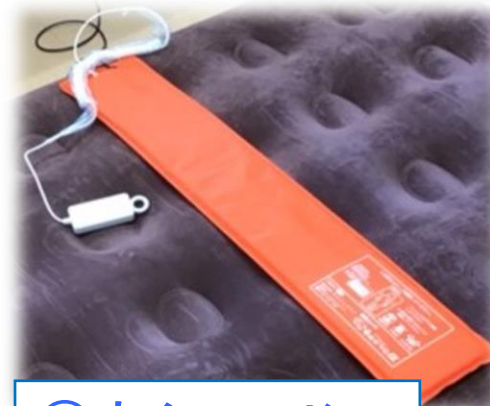
同時にアラームを手元スマートフォンに通知

③ナースコール、呼吸数、心拍数、離床回数・時間をサーバーに自動保存

④インカム又はスマートフォン内外線通話アプリ 「AGEphone」による情報連携

→見守り支援にかかる業務負担が
大幅に軽減

- ・訪室回数の減少
- ・ヒヤリハット事例、事故の発生防止、再発の防止



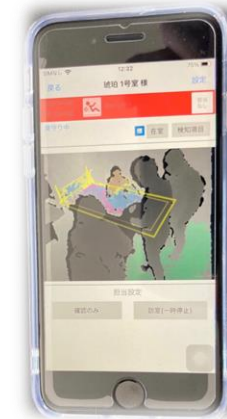
①安心ひつじα



②Neos+Care

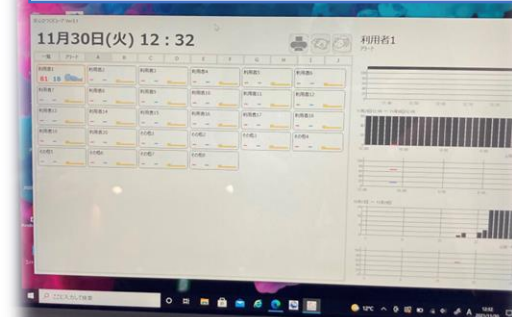


②スマートフォン
(スタッフ携帯)



②Neos+Care
のviewer

②サーバー端末



③クラウドサーバー

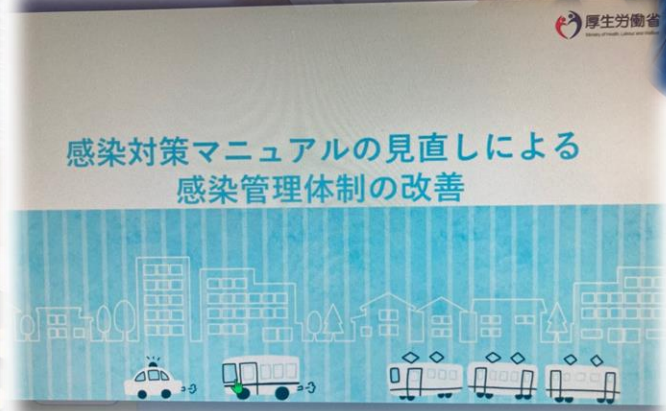
③サーバー



情報通信技術 (ICT)

Zoomなどのオンラインコミュニケーションアプリ
(会議・研修など)

感染症予防・会場までの
移動時間等の負担を削減



全部署 (2020年導入)



情報通信技術（ICT）

Zoomなどのオンラインコミュニケーションアプリ
（面会、施設見学、採用面接など）



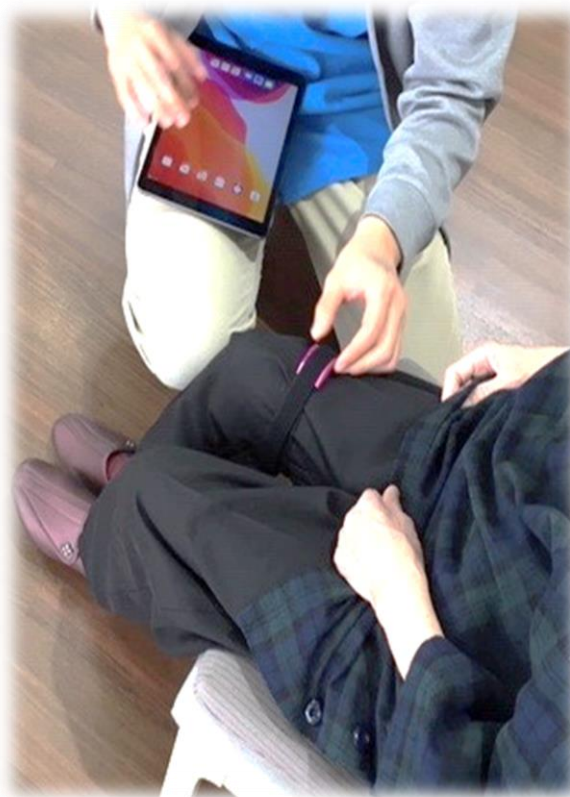
全部署（2020年導入）



情報通信技術 (ICT)

モブ測(Moffバンド)

(体力測定用ウェアラブル端末、アプリ)



体力テストの自動測定
体力テスト結果の自動記録、
リアルタイムレポート出力



デイサービスセンター 5本(2020年導入)



情報通信技術（ICT）

モフトレ(Moffバンド)

（オンライン機能訓練・アクティビティツール、アプリ）



動画による機能訓練
トレーニング結果の自動記録
リアルタイムレポート出力

デイサービスセンター 5本(2021年導入)



情報通信技術 (ICT)

HURスマートタッチ (トレーニングマシン)



負荷と回数の自動設定
トレーニング結果の自動記録
リアルタイムレポート出力



- ・アダクション／アブダクション
- ・チェストプレス
- ・プッシュアップ／プルダウン
- ・アブドメン/バック
- ・レッグプレス

デイサービスセンター 5台(2018年導入)



～その他の機能訓練用機器・器具～

redcord®

リハビリバイク

アシストウォーカー（免荷機能付）

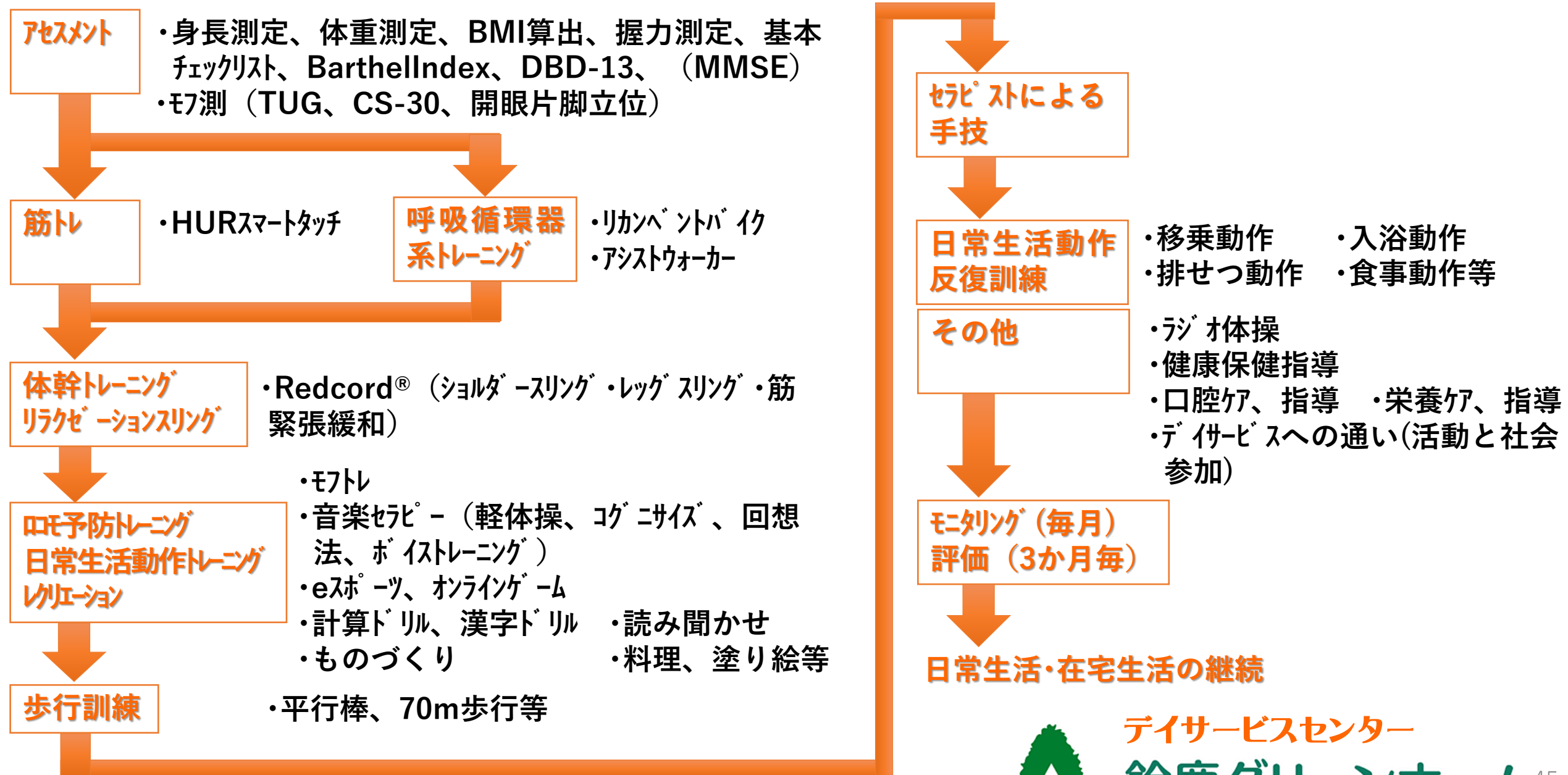


デイサービスセンター（2018年導入）

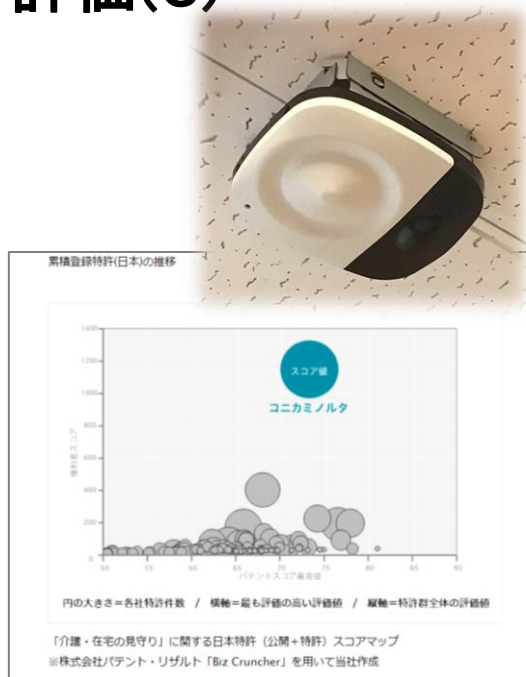
テクノロジー活用【レベル4：デジタルツールの活用による機能訓練・介護予防】



デイサービスセンター鈴鹿グリーンホーム 介護予防・重度化防止・健康寿命延伸 スキーム (R4.4)



⑦改善状況把握(A)
フィードバックデータの
活用(ケア展開)、
評価(C)



②観察
⑥状況記録

HitomeQ ケアサポートシステム
(コニカミノルタ株式会社)

出典：HitomeQ ケアサポート | コニカミノルタ (konicaminolta.com)



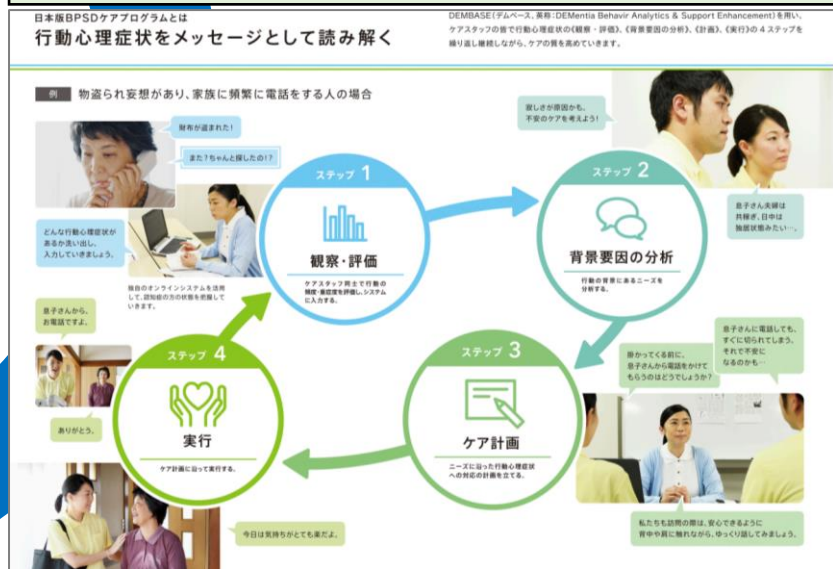
認知症ケア
×
テクノロジー

⑧分析

認知症の診断
認知症高齢者の日常生活自立度

①状態把握

日本語版BPSDケアプログラム
DEMBASE
(公益財団法人東京都医学総合研究所)



出典：DEMBASE a3 180601 kanni ol.pdf (igakuken.or.jp)

②観察・評価→③背景要因の分析
→④ケア計画(P)→⑤実行(D)

【ケアマネジメントサイクルにかかる生産性向上(居宅介護支援)：AIは使用でき次第】**【R4実施予定】**

インテーク

アセスメント

ケアプラン原案作成

サービス等調整

サービス担当者会議

説明・同意・交付

P(計画)

A(改善)

D(実行)

C(評価)

モニタリング

※LIFE

給付管理

- 活用すべきツール
- ・介護ソフト
 - ・ラップトップ PC、スマートフォン等のデバイス
 - ・音声入力ソフト
 - ・アプリ(オンライン会議、情報連携、AI)
 - ・WiFi、LAN、NAS

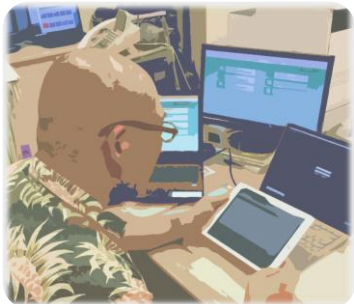
第1表・・・CM
第2表・・・AI
作成
第3表・・・AI
作成

第4表、第5表
・・・音声入力
等活用

第6表、第7表
・・・AI



LIFEフィードバックデータの活用【レベル3：LIFEシステムと介護ソフトの組み合わせ】【R3.6～】



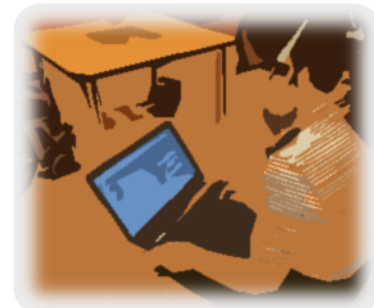
(1) CHASEフィードバック (試行版) 2020.8サービス提供部分

- ① 1日あたりの時間／回数(離床・座位保持・立ち上がり)【FORM_0600_2021_01】
- ② 排せつの状態に関するスクリーニング・支援計画書
排せつ(日中)の状況
【FORM_0600_2021_01 & 02】
- ③ 自立支援促進に関する評価・支援計画書
支援実績(日々の過ごし方、居場所づくり)
【FORM_0700_2021_01】
- ④ 個別機能訓練計画書(機能訓練の長期・短期
目標への活動参加の位置付け数)
【FORM_0330_2021_02】
- ⑤ 生活機能チェックシート(ADL)
【FORM_0320_2021】
- ⑥ 興味・関心チェックシート(任意)

(6) 24時間シート・各関連計画「P」

(5) 施設サービス計画「P」

(2) 施設サービス計画書「P」



(3) 個別ケアの提供 「D」

(4) ① LIFEフィード バック (暫定版) 2021.8サービス提供部 分「C」「A」

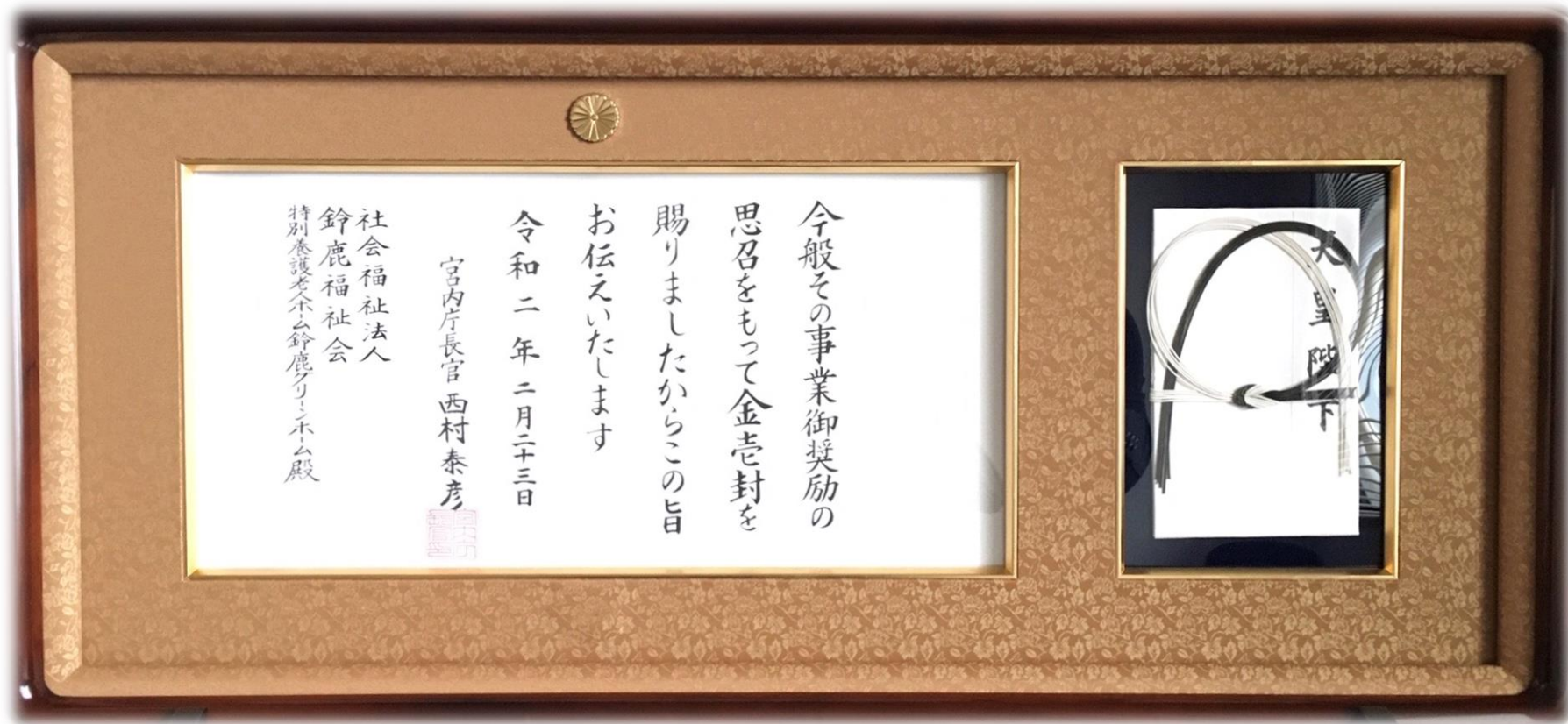
(4) ② BlueOceanNote II からの自ホームデータ抽 出



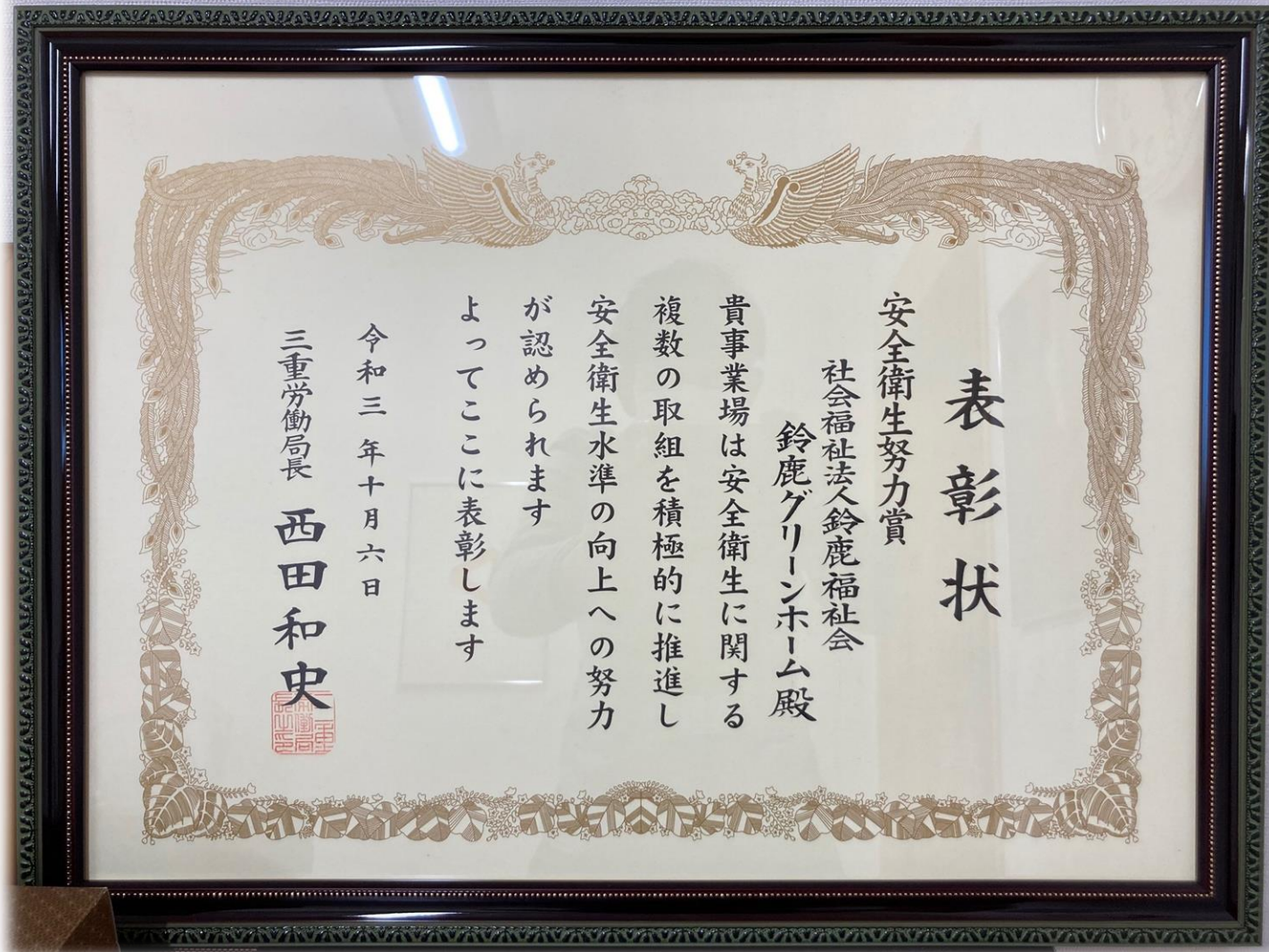
施設サービス計画書のニーズの変化
ケアプラン第2表「生活全般の解決すべき課題(ニーズ)」の比較

受賞、認証等の取得

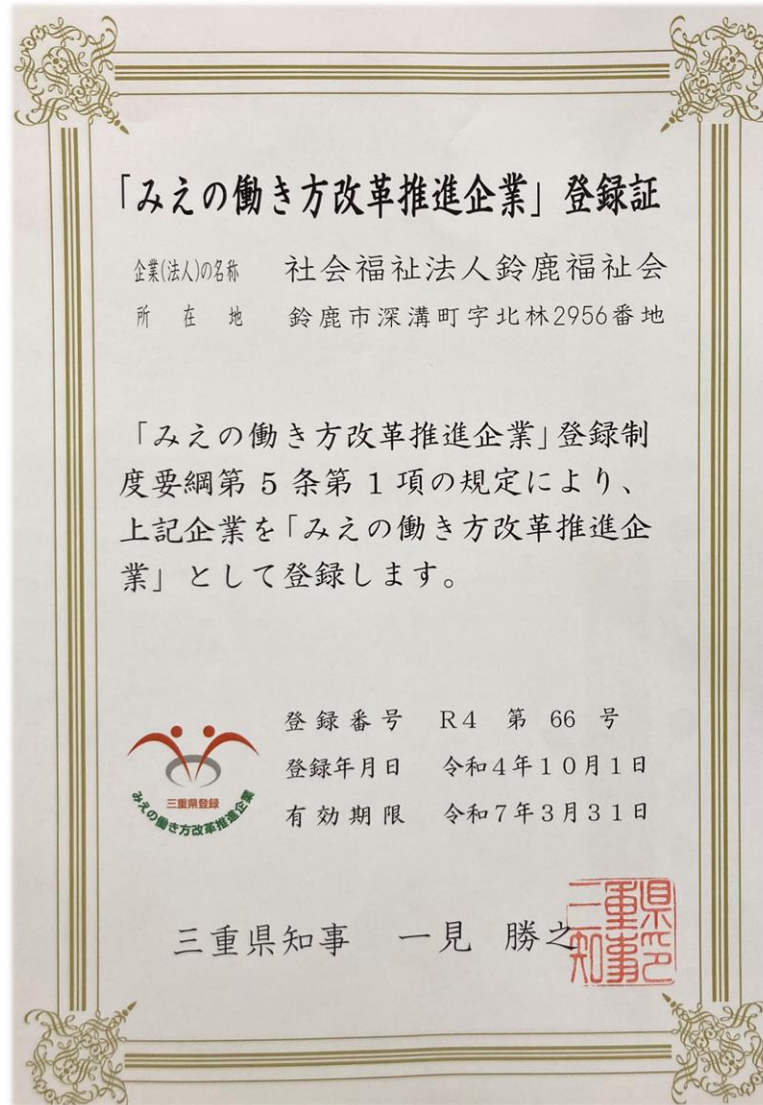




2020.2.23 令和になって初の天皇誕生日(2月23日)に際して、
今上陛下より、優良民間社会福祉事業施設として御下賜金を拝領



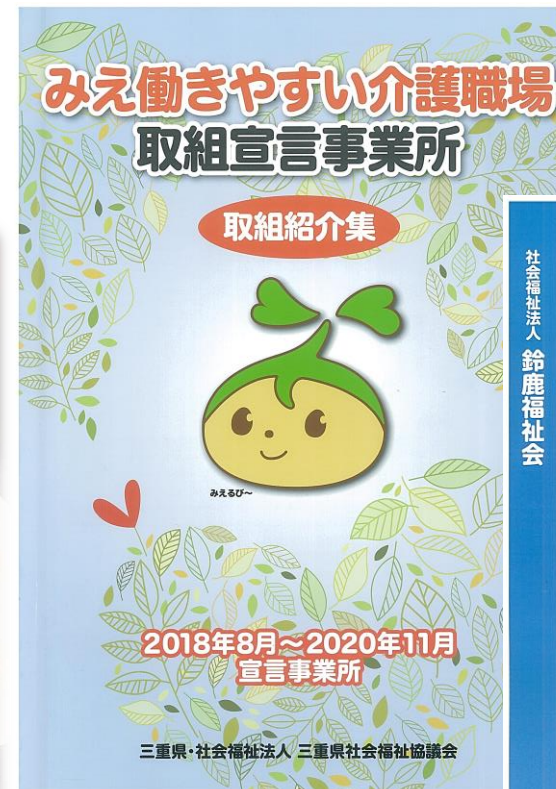
2021.10.6 三重労働局長 令和3年度安全衛生に係る優良事業場
「安全衛生努力賞」受賞



2022.10.1 三重県「みえの働き方改革推進企業」登録



2020.10.29 更新
2022.10.29 更新



2018.10.29 三重県 みえ働きやすい介護職場取組宣言事業所証明(宣言番号 1)
宣言：「働き方を改善して、仕事と家庭の両立を図る。」



外部からのご依頼・取材等 (2021年以降・主なもの)



2020 February No.347

福祉みえ

連載

ふくしの職場
取り組み宣言

第5回 社会福祉法人 鈴鹿福祉会

取り組み宣言 働き方を改善して、仕事と家庭の両立を図る。

社会福祉法人 鈴鹿福祉会では、ICTやロボットの導入によりスタッフの負担軽減、サービスの向上を実現させています。今回は、常務理事 五十部 綾子さん、同法人施設長 服部 昭博さんにお話を伺いました。

きっかけ

我が法人の新しいこと取り組みは職員を大切にすること、利用者の増加・介護人材の減少という課題に対応すべく、まずは介護ロボット（HAL）を導入しました。平成28年2月から導入し、翌年本格的に導入しました。

導入後について

新しいことへの取り組みが職員へのモチベーションの向上につながっていると思います。ロボットやICTはあくまでも道具にすぎません。職員がこの道具をどう使うかが大切になってきますが、プロとして使いこなしていく工夫をそれぞれの職員が考えて実践しています。

今後について

ICTの部分は記録や文書化、介護の負担軽減ができるようになることを目指しています。そのためのインテグレーションが課題としてあります。基礎は徐々に進めています。

▼介護ロボット「ロ」の五十部常務理事

▲HALの使い方を教えていただきました

▲ICTについて説明される服部施設長

社会福祉法人 鈴鹿福祉会
〒519-0321 鈴鹿市深溝町 2956 番地
ホームページ <https://suzuka-greenhome.jp/>

Symposium

Harada Takashi 原田崇史
Kikuchi Yoshikazu 菊地芳一
Kitajima Fumitaka 北嶋史誉
Takeshita Kouhei 竹下康平

どうする？ LIFE対応
科学的介護への対応を
変革の契機としよう

科学的介護情報システム(LIFE)活用の推進が決まった今報酬改定。しかし、その活用方法はまだ見えてこない。そこで、データ収集システム「CHASE」に取り組んだ鈴鹿グリーンホームの原田崇史氏とグリーンコート三愛の菊地芳一氏、ICT化で業界を牽引するエムダブルエス日高の北嶋史誉氏、そして、介護とITを同時に考える会社、ビーブリッドの竹下康平氏の4氏にLIFEの現状と今後を語ってもらった。

まずインストールで
困難に直面

原田さん、菊地さんは先にCHASEを利用されていますが、現時点で2月末までの感想を教えてください。

原田さん 昨年5月1日にCHASEに関する通知のハガキが届き「今後、加算項目になっていくから先んじてやろう」と進めてきました。端的な感想としては、まず、インストールの段階から初めてのことで、不慣れなわけですが、ヘルプデスクがメールしかなく、しかも、問い合わせでも返事がなかなか返ってこない。これには本当に困りました。

基本的には、比較的時間に余裕がある夜のスタッフに人力をしてもうのように段取りをしていました。夏以降はスタッフ総出でバックまで漕ぎ着けた状況です。菊地さん またま北海道老人保健施設協議会から、株式会社レノバのi・MEDICを使い、薬を二次元コードで読む実証実験の依頼があり、薬剤情報だけの入力という

かたちで、CHASEを導入しました。原田さんのおっしゃる通り、IEインターネットエクスポローラーでしか動かないため、インストールの時点で苦労しました。

私たちは介護ソフトにNDソフトウェア株式会社の「ほのぼの」を使っていますが、CHASEへのCSVファイルの出力エラーが頻出し、データ連携がうまくいきませんでした。また、医師や看護師がCHASEへの入力に対していない部分に薬剤情報を入力していたという事態も発生し、CHASEとの連携がまったく取れず、後から私がすべて手打ちで薬剤情報をCHASEの画面上で入力することに……。当初は10名ほどのサンプルで進める予定でしたが、これでは難しいということで、結局、4名のみになりました。「使い勝手が良い」というのが正しい印象です。

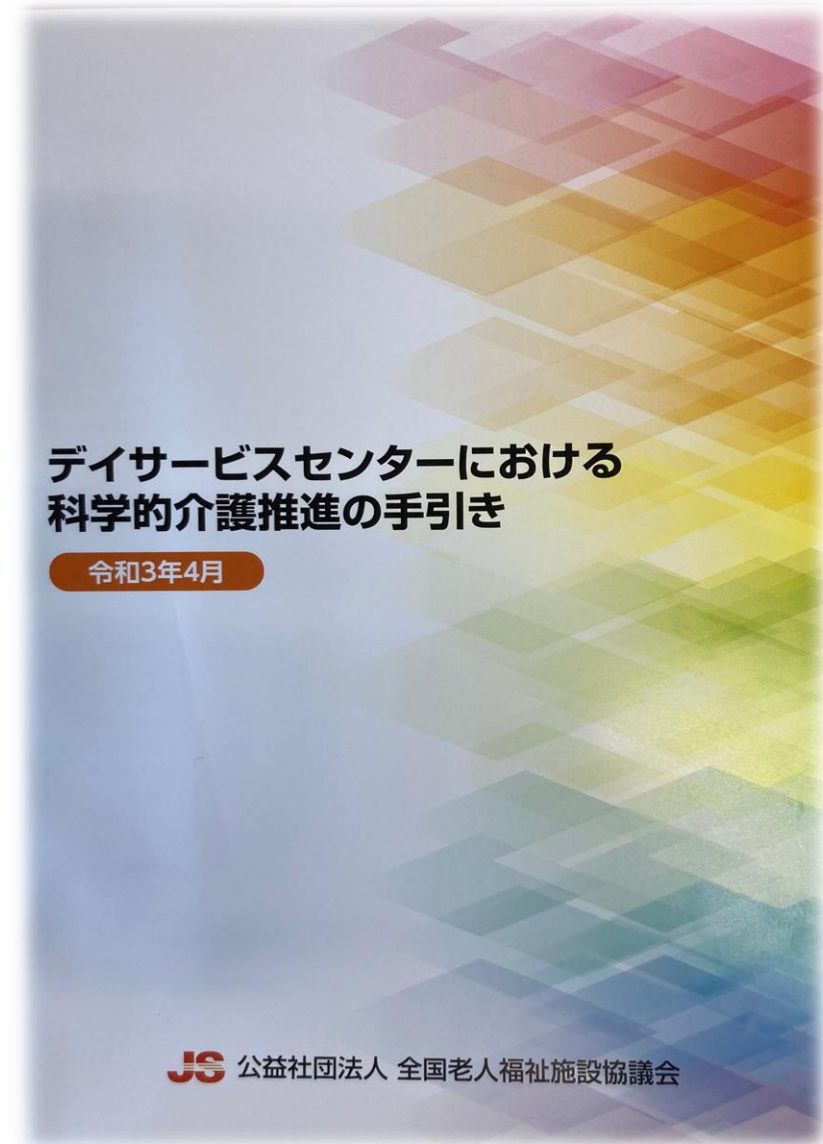
システム制作側として、竹下さんの見解を教えてください。

竹下さん 今回のLIFEのデータベースは、基本的に介護ソフトにあるデータを正として取り込む

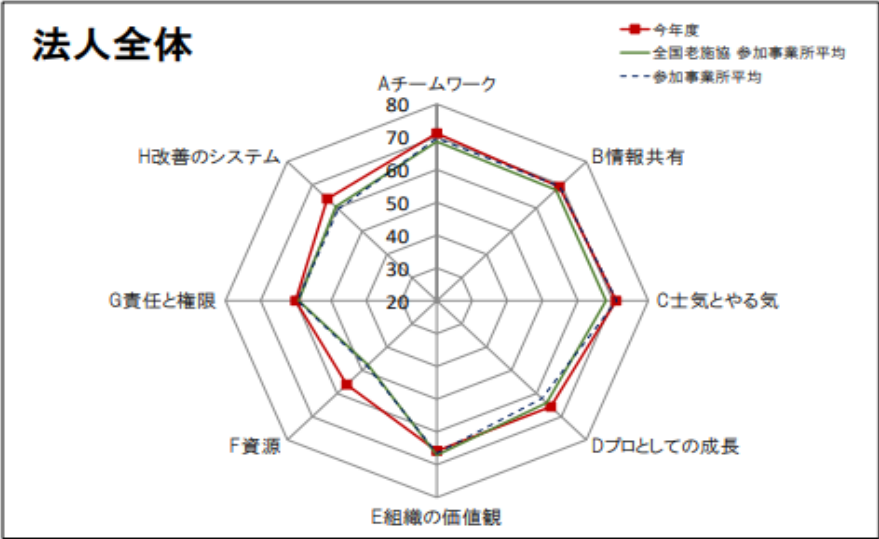
2021.3 レバレッジズ株式会社 Webサイト 「きらケア研究所」掲載



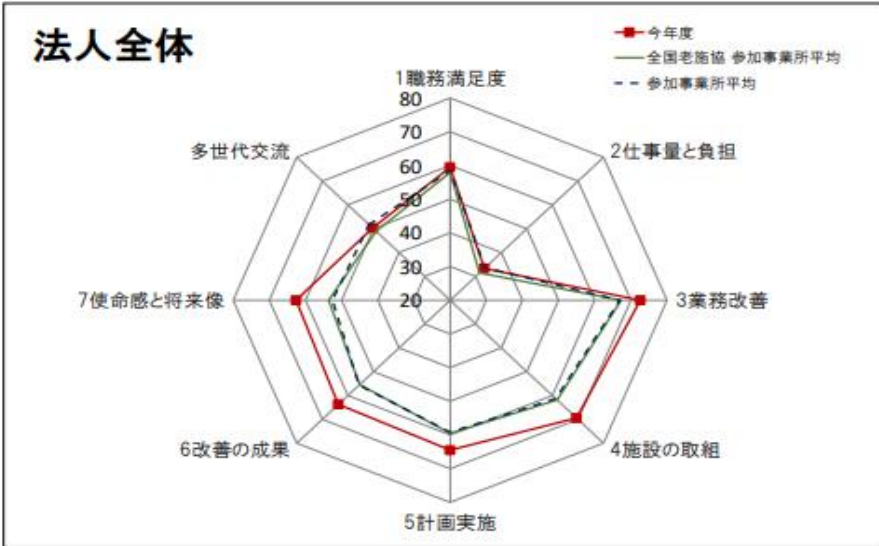
2021.4 公益社団法人全国老人福祉施設協議会 「デイサービスセンターにおける科学的介護推進の手引き」作成WT参画



2021.3 京都大学大学院医学研究科医療科学分野 「介護事業所組織文化に関する調査」協力



©京都大学 大学院医学研究科 医療経済学分野 & 日本医療経営機構



©京都大学 大学院医学研究科 医療経済学分野 & 日本医療経営機構

2021.6 高齢者住宅新聞社 「高齢者住宅新聞」連載コラム「LIFE活用による介護DX推進」に当ホームスタッフ画像が掲載

第2回 システム導入における苦労と喜び

LIFE活用による介護DX推進

株式会社ブルーオーシャンシステム
営業部 営業課課長
沖本 崇
(おきもと たかし)

映像制作会社、ブライダルカメラマンから介護業界へ入職。営業部門、カスタマー部門を経て現在は主に営業推進、広報活動に従事。創業から介護業界のDX化を推進する会社の思いを伝えるエバンジェリストとして活躍中。

今回は記録システム導入から本稼働までの苦労話を伝えたい。背景は介護業界全体として「パソコンが苦手」「手書きに慣れている」等の現場の意見が多く、推進するのには苦労が伴います。導入当初は肝心の「介護（食事、排泄、入浴）の判断とリスク軽減に寄与する」業務改善を継続できる組織に変わります。

奮闘するプロジェクトリーダーたち

▲現場の意見を中心にICTが推進した。特別介護老人ホーム「鈴鹿グリーンホーム」

振り返ってみると、手書き運用時点での課題であった属人的なノウハウの継承「情報集約の遅延」「膨大な記録転記作業」から解放され、介護記録から読み取る判断が自然と身につき効果が現れ、多職種間でもシステム活用を前提とした運用ノウハウが形成されます。一方で、LIFEの取り組みは国が開始した介護DX推進とも言えます。法人が推進している介護DXと二つの取り組みが相乗効果を得ることが理想ですが、4月提出分作成にあたり膨大な入力作業に追われ、システム運用が重複したように感じる現状を危惧する声も多くなっています。国と法人が進める介護DXの方向性を業務の中で一致させ、奮闘するプロジェクトリーダーとスタッフの知識と力に交換できるような柔軟に推進することが成果を得るための方策になりそうです。今回は現場で推進された取り組みが法人全体の成果となった事例を紹介いたします。



2021.7 厚生労働省「BPSDの軽減を目的とした認知症ケアモデルの普及促進に関する調査研究」選定(公募窓口:全国老施協、推薦:三重老施協、実施主体:認知症介護研究・研修東京センター)

2021.9 日刊木材新聞
「ウッドショック下における木材の連携調達」掲載
 （10月、同様の記事が読売新聞オンラインに掲載）


[東京都の取組](#)


[認知症ケアプログラム推進事業](#)

[「日本版BPSDケアプログラム」アドミニストレーター研修](#)

「日本版BPSDケアプログラム」アドミニストレーター研修

「日本版BPSDケアプログラム」アドミニストレーター研修

東京都では、公益財団法人東京都医学総合研究所と協働して開発した、認知症の行動・心理症状（BPSD）の改善が期待される「日本版BPSDケアプログラム」（以下「ケアプログラム」という。）の普及により、認知症ケアの質の向上に取り組んでいます。

このケアプログラムは、介護サービス事業所や地域において、認知症ケア質の向上のための取組を推進する人材を養成するとともに、BPSDの症状を「見える化」するオンラインシステムを活用し、ケアに関わる担当者の情報共有や一貫したケアの提供をサポートするものです。アドミニストレーター研修は、介護サービス事業所等において、オンラインシステムを活用したケアを実践する「アドミニストレーター」を養成する研修です。

※ 日本版BPSDケアプログラムについては[こちら](#)を御覧ください。

目的

介護サービス事業所等の職員が、ケアプログラムを実践するための「アドミニストレーター」として、必要な知識及び技術を習得する。

日時・定員等

- 形式
eラーニング研修（標準所要時間4時間）
- 開講期間
令和3年11月15日（月曜日）から令和3年12月17日（金曜日）
- 定員
10名程度
※申込み多数の場合は、地域のバランス等を考慮の上、受講者を決定します。

出典：「日本版BPSDケアプログラム」アドミニストレーター研修 | 東京都の認知症ポータルサイトとうきょう認知症ナビ (tokyo.ig.jp)

(6)

第3種郵便物認可

木材新新聞

非住宅木造の木材調達担当

社外連携でオール国産材を実現

松阪木材

松阪木材（三重県松阪市、久保寛社長）は、社会福祉法人鈴鹿福祉会（同鈴鹿市、中村敏理理事長）が年内竣工を予定する木造の短期入所者施設「ショートステイ鈴鹿グリーンホーム翠風（仮称）」（鈴鹿市）の木材調達を担当した。ウッドショックのなか、当初使用が予定されていた輸入材の国産のカラ松ほかにか切り替え、構造材をオール国産材で提案。林野庁の補助金事業も視野に入れ計画を進めた。

年初の見積もり段階を持ち、木材調達で豊から、横架材（梁・富な）ウハウを持つ松板材、間柱や筋違となるWウッドの調達が見通せず、施工を手掛ける丸龜産業（松阪市）竹上景太社長）から地域内外にネットワーク

材をほぼ国産材とすることで物件対応が可能と判断。Rウッド集成材の代替となるカラマ

ツ集成材のラミナ調連を、日本製紙木材（東京都、羽山邦彦社長）に依頼、これを、けせんブレカット産業協同組合（岩手県気仙郡、泉田十太郎代表理事）が約100立方分の集成材に加工した。ま

上（建設工事が進む「ショートステイ鈴鹿グリーンホーム翠風（仮称）」）、下（完成予想図・左下）

た、大断面を含む東海立方材は協同組合と新ひのきの家（岐阜県津川市、中島紀子代表理事）に依頼した。木材は、間柱等のムク構造材は、田中林業（松阪市、田中善彦社長）に依頼し、グリーンウッド（杉・松の原木の伐採と依頼し、グリーンウッドタキミ協同組合（同蒲田代表理事）で約60立方分の製品を製材した。

建設が進む深溝グリーンホームVIは、木海

平屋建で、全面積約100平方メートル。設計は、nobブランニング（三重県建築士事務所、岡村信之社長）が担当した。松坂木とは、同社と丸亀産業と木材の調達やスケジュールに関する情報と共有。JAS標補助金を用いた大事業の補助金は活用できなかったのは非常に数少ないタイムスケジュールだった。が、構造材や屋根材の大半をJAS製品で調達し、申請に間に合わせた。

松坂木材ウッドピア2事業部営業課長で、三重県木材協同組合連合会から採れるサブライチェンマネジメントの木材コーディネーターも務める中野貴文氏は「川中に立つ松坂木材がハブとなり、県産材がハブとなり、県産材用に意欲的な商材が杜林、地元のエセモノ丸亀産業、日本製紙木材がせんぷリカト事業協同組合、プラレックを担った三重県木材協同組合」といった上川と下川の直接連携が可能になった。機能的な住宅を実現する国産材に対応するため、ウッドショックの渦中だけに、通常価格に影響のないよう材料調達は我々が保有している在庫とは別枠に進めた。

強風対策のための説明会開催

日本住宅 木材技術センター

日本住宅・木材技術センター（東京都葛飾区）が、特定近岸部の建物には大きな被害を受けたことを受け、国庫の根拠となる、歴史的瓦の計画的な繋結を定めてくれる建築基準法の告知事項（1977年告示090号）が改正された。2011年からすべての瓦を繋結する工法として、ガイドライン工法に代わり、耐風性能が高い繋結方法が採用されている。また、小屋組についても関係する企業がチーノ木材調達、供給に力を入れた今回のケーシングは、非住宅木造物件の国産材を供給する（二つのモデルケース）と話している。

各地域で想定される最大速の大きさに応じた小屋組接合の強化が求められている。

説明会では、耐風性能向上に向けた小屋組の接合金属のほか、各地域の基準風速などに応じた接合金属、Zマーカー金の承認率などについて同セミナーの担当者で解説した。なお、「雪回あいちゃんがい表彰」の募集開始

愛知県 「雪回

2021.9

令和3年度東海北陸ブロック老人福祉施設大会(みえオンライン大会)研究事例発表(6年連続)

生産性向上と負担軽減への取り組み

～ICT等を活用し、ケアの向上を目指す～

令和3年度東海北陸ブロック老人福祉施設研究大会(三重オンライン大会)
令和3年9月13日(月)～18日(土)

社会福祉法人 鈴鹿福祉会
特別養護老人ホーム鈴鹿グリーンホーム
サブユニットリーダー



00:00 / 13:51

2021.9 伊勢新聞

「令和3年度東海北陸ブロック老人福祉施設大会の受講の様様」掲載

2021年9月22日(水)

伊勢新聞

社会 政治 経済 スポーツ 地域 コラム 特集・連載 天気

伊勢新聞 > 北勢 > 鈴鹿 介護職員ら先進事例学ぶ 老人福祉施設研究大会 三重

鈴鹿 介護職員ら先進事例学ぶ 老人福祉施設研究大会 三重

2021-09-15 北勢, 地域



【動画を視聴する介護職員ら＝鈴鹿市深溝町の鈴鹿グリーンホームで】

【鈴鹿】三重のほか富山、石川、名古屋市など6県1市による「東海北陸ブロック老人福祉施設研究大会 三重オンライン大会」(同施設協議会など主催)が、このほど始まった。同ブロック内の介護福祉事業所370施設が参加し、「最期の一瞬まで、自分らしく生きられる社会へ」をテーマに、介護職員らが動画を視聴し、先進事例などを学ぶ。30日まで。

同研究大会は職員の資質向上を目的に、毎年各県の持ち回りで実施。昨年は四日市市で開催予定だったが新型コロナウイルス感染症の影響で延期となり、今年は初のオンライン開催となった。

伊勢新聞社のSNS

Twitter Facebook YouTube LINE



SUZUKA GREENHOME

2021.9 中日新聞 「コロナ禍で窓越しの面会」掲載

トップ 新着 動画 写真 ランキング 今日のニュース スポーツ速報

①【新型コロナ特集】最新感染状況と関連ニュース

ニュース > 地域 > 「愛してる」 鈴鹿の特養、コロナ禍で窓越しの面会

「愛してる」 鈴鹿の特養、コロナ禍で窓越しの面会

2021/09/21 05:00

中日新聞

長期化するコロナ禍で直接の対面が難しい中、鈴鹿市深溝町の特別養護老人ホーム（特養）「鈴鹿グリーンホーム」ではオンラインや窓越しの面会を続けている。敬老の日の二十日には、四日市市和無田町の坂本紀生さん（78）が花かごを手に、長女（46）と、七月から入所する妻京子さん（87）に会いに来た。



窓越しに面会する坂本紀生さん（右端）と妻京子さん（左端）＝鈴鹿市深溝町の鈴鹿グリーンホームで

（中日新聞Web）

最初はタブレット端末でオンラインの対面を試みた坂本さん。ただ、京子さんが認知症を患っていることもあり、会話が続かなかった。だが、その後、窓越しに京子さんと顔を会わせると、その表情が一変。車いすから、笑顔で二人の顔を見上げた。

坂本さんが「元気ですか」と聞くと「元気ですよー」と応じた京子さん。別れ際に「愛してるよ」と伝えた坂本さんに、得意な英語で「I love you」とつぶやいた。

対面後、坂本さんは「寂しいが、元気そうで安心。コロナが収束したら一晩くらい家に連れて帰りたい」と話した。

施設では昨年五月からオンラインと窓越しでの面会を実施。窓越しでの面会のニーズが高いといい、施設長の服部昭博さん（49）は「感染状況の濃淡を見極めながら、リアルとオンラインの使い分けをしていく必要がある」と話した。（須江政仁）

敬老の日 認知症 感染 特別養護老人ホーム・介護老人保健施設

2021.10 三重県福祉人材センター 「みえ働きやすい介護職場取り組み宣言」事業所にかかる動画撮影



2021.11 奈良県老人福祉施設協議会「LIFEに関する県研修会」講師

奈良県老人福祉施設協議会様
令和3年度テーマ別研修会（YouTube動画配信研修）

「LIFEについて -その将来像-」



私たちは、地域に信頼されるべき存在であり続けます

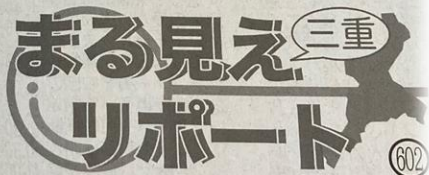


社会福祉法人 鈴鹿福祉会 鈴鹿グリーンホーム
【公式サイト】（suzuka-greenhome.jp）

社会福祉法人鈴鹿福祉会
特別養護老人ホーム鈴鹿グリーンホーム
理事・施設長 服部 昭博
Email: suzugu@mecha.ne.jp



「最先端の会議現場へICTやロボット活用」掲載



やデータのグラフ化で居室に入るタイミングや排泄のタイミングが的確につか

2021.10 三重労働局主催講習会 「安全衛生努力賞」にかかる取組事例報告



2021.11.15 シルバー産業新聞社

「LIFEフィードバック 暫定版から施設の状況を読み解く」掲載

トップページ お役立ちコンテンツ 新聞の申込 書籍案内

ニュース | 2021/11/15

L I F Eフィードバック 暫定版から施設の状況を読み解く

2021年 シルバー産業新聞



科学的介護を目指し、2021年度介護報酬改定では、利用者の身体状況と提供したケア内容等を国へ提出する科学的介護情報システム「L I F E」がスタートした。6月と8月、10月にはフィードバックが行われたが、内容は情報を提供した事業所の状況と、各項目の全国割合と該当者数を確認することのできる「暫定版」にとどまる。暫定版フィードバックを活用して、科学的介護に取り組む特養「鈴鹿グリーンホーム」にデータ分析方法などについて話を聞いた。

現場の分析力を高めて、今後のケアに繋げる

社会福祉法人鈴鹿福祉会（中村敏理事長）が運営する特養「鈴鹿グリーンホーム」（三重県鈴鹿市、服部昭博施設長）では、今年4月よりL I F Eへの情報提供を行っている。

現在、L I F Eのフィードバックでは利用者の身体状況などを全国平均と比較したデータのみ返されている。同施設では暫定版フィードバックから効果があるケアを読み取り、ケア内容に反映している。

暫定版フィードバックの分析

トップページ お役立ちコンテンツ 新聞の申込 書籍案内

「上記のデータから、当施設では比較的重度な認知症者が多いが、意思疎通ができるなど穏やかな生活が送れていると読み解くことができる。つまり、B P S Dがでないケアがしっかり実践できている」と服部施設長は分析する。

一方で、明らかな外れ値等も見られることから、自分たちの施設にとって何が必要なデータかを見極めることも重要となる。どのケアに積極的に取り組み、また評価できるケアは何かを把握することで、根拠のある介護を実践している。

L I F Eの取り組みには業務効率化が必須

同施設では、CHASEが開始した段階で今後、現在のL I F Eのような情報提供システムが必須となると予測し、人材やシステム等の体制を3年前より整えてきた。

まず、データ入力に必要な各種計画書の入力・作成を行う専門職を育成するため看護師、管理栄養士、ケアマネジャーを積極的に採用。さらに、見守りセンサー等の介護ロボットを導入するためにネットワーク環境を整え、データ入力のためのタブレット端末を整備した。

服部施設長は「CHASEなど新しいことに取組む際は、業務改善とセットで考えなければ、現場の負担が大きくなってしまう」と強調する。このほか、システムベンダーと連携してCHASEに対応するシステム開発にも取り組んだ。

L I F Eが開始してからは、まず管理栄養士など専門職が加算算定に必要な計画書を作成。現場スタッフが夜勤の空き時間等を活用しながらデータをシステムに入力する。その後、各分野の専門職と生活相談員が登録内容の最終チェックを行う。

生活相談員でL I F Eの管理者の原田崇史さんは「高齢者人口は増え、働き手世代が減少する2040年を目指して、ICT化や人手に頼りすぎない介護手法を考えていかなければならない。現場が負担なくL I F Eに取り組めるよう、体制を整えていく」と話す。

2021.11 中日新聞社

『三重労働局 令和3年度安全衛生に係る優良事業場「安全衛生努力賞」』に関する取材(介護ロボット)



介護ロボで負担を軽く

介護の現場にロボットを導入する動きが広がっている。民間調査会社によると、市場規模は年々拡大し、二〇三年度には、二十五億円を超える見通し。人手不足や、利用者の移動を支援する際に腰を痛めるなど、職員の負担が大きいことが背景にある。ロボットの活用で、現場の負担を軽減する効果が期待されている。

鈴鹿の特養 防災防止へ積極活用

一六年から最新の介護ロボットを導入してきた鈴鹿市深溝町の特別養護老人ホーム「鈴鹿グリーンホーム」。現在、職員に装着する「パワースーツ」など九機種を配備している。今年二月に投入した移送支援ロボット「SASURU E（サスケ）」は、ハンモック状のシートで寝たがりの利用者を支え、横になったまま持ち上げることができ、レバー操作のみで乗作業ができることから、職員の多負担とみさん「腰が痛くなることはな

いし、利用者本人も安定した楽な姿勢でいられる」と利点を話す。ほかにも利用者の排せつのタイミングを予測するロボットや、夜間に利用者が眠っているかどうかを把握できるセンサーを備えたロボットなどがある。

厚生労働省によると、腰痛などの労災は、約三割が利用者をベッドから車いすへ移し替える「移乗作業」で起る。特に利用者がベッドから自力で起き上がれない場合、介助者は利用者の体を抱きかかえなければなら

ず、腰への負担が大きい。同施設によると、職員一人当たり一日二十回以上も移乗作業をすることもあるという。服部昭博施設長（仮）は「職員がけがで離職し、シフトに穴があいてしまうと、他の職員の負担が増してしまおう」と、マネジメン

ト面でも介護ロボットの積極的な導入する意義を強調。 「少子高齢化により、高齢者が増える一方、働き手は減っていく。業界をリードする覚悟で、さまざまな試みに挑戦し続けたい」と話している。

国内市場 拡大見込み

市場規模の推移と予測

年度	市場規模(億円)
2018	約10
2019	約15
2020	約18
2021	約20
2022	約22
2023	約25

※矢野経済研究所の資料を基に作成。メーカーは複数ある。

三菱UFJリサーチ&コンサルティングの加藤純悟マネージャーは、新型コロナウイルス禍で人と人との接触を減らすため、ロボットの価値が見直されていることも市場拡大の一因と分

「メーカー側が介護現場のニーズをきき取ってほしい、今後もしっかりと普及してゆく」と話した。

2021.11.18 中日新聞朝刊



2021.11 公益社団法人全国老人福祉施設協議会 「第78回全国老人福祉施設大会(山口オンライン大会)」講師



分科会

第1分科会	科学的介護の深化 ～「LIFE」と「認知症BPSDケアプログラム」の取り組み～
趣旨	後期高齢者と認知症高齢者の増加、福祉・介護の担い手不足、財政的な制約の高まりなどをはじめとした、私たちを取り巻く社会環境の変化に伴い、質的・量的な介護ニーズも日々変化しています。その変化に的確に対応していくには、介護業界の連携はもとより、行政、医療、学術研究機関、地域住民等との協力が重要であり、現場革新と科学的介護の実現を促した、より高品質な介護サービスの創出が期待されています。
企画	40分 基調報告 全国老協協老協協研運営委員会 委員長 尾関 英浩 40分 基調II LIFEの概要について 厚生労働省 老健局 老人保健課 50分 講演II CHASE～LIFE 一鈴鹿グリーンホーム介護現場・多職種の取り組み事例～ 社会福祉法人鈴鹿緑社会 鈴鹿グリーンホーム 施設長 服部 昭博 氏 50分 講演III コロナ禍における認知症の人や家族への支援について 国立法人広島大学 石井 伸弥 氏 40分 講演IV 認知症BPSDケアプログラムについて (仮) 東京都医学総合研究所 社会健康医学研究センター センター長 西田 淳志 氏 70分 シンポジウム 認知症BPSDケアプログラム実施施設の事例紹介 (仮) 調整中 シンポジスト 東京都医学総合研究所 社会健康医学研究センター センター長 西田 淳志 氏

2021.11 三重県・社会福祉法人三重県社会福祉協議会 「みえ介護フェア2021」参画 (イオンモール津南とオンラインのハイブリッド開催)



大会報告冊子(2022.3)

講演II CHASE-LIFE

～鈴鹿グリーンホーム介護現場・多職種の取り組み事例～

服部 昭博 氏
社会福祉法人鈴鹿緑社会
特別養護老人ホーム
鈴鹿グリーンホーム
施設長

ユニット型の特別養護老人ホームと併設のデイサービス運営するなかでICTを導入、活用してきた。Wi-Fi、介護記録ソフト、インカム、NAS(ネットワークHDD)などを導入している。また、介護ロボットは導入から5年が経過し、装着型移乗支援機など9機種を活用している。

事例として、たとえば、見守り支援器で睡眠状態を自動記録し、排せつ予測デバイスを手元の端末で確認することで、夜間の訪問回数が減少したことがある。

介護職員にアンケートを取ったところ、「介護記録は手書きに戻れますか」は「いいえ」が75%、「機器や介護ロボットのない介護に戻れますか」は「いいえ」が85%だった。ICT・介護ロボット・データの活用によるケアの最適化のプロセスは、職員の自信や職場の満足感の向上につながる。

LIFEへの体制整備では既存の会議システムを生かしたり、多くの職員が入力にかかわれる体制を整備したりするなど、特定の職員の負担を増やさない方法を採用した。

LIFEのフィードバックは始まって期間が短いので、まずはデータの比較を行い、ケアの方針立てに活かしている。LIFEはこの先さらに活用できる可能性を秘めている。データについての理解やスキルを高めていく必要があるが、最前線にいる職員が良い方法を提案していけば、現場本位の運用をリードできるだろう。

Point

- ICTや介護ロボットの活用は、職員の自信や職場の満足感につながる
- LIFEへの体制整備は職員の負担を増やさない方法を選んだ
- 職員が提案することで、現場本位のLIFEの運用をリードできるはず

介護記録ソフト

【介護現場のIC...】

ケアコラボ
ケアコラボ株式会社

ICTケア記録システムです。いつでもどこでも簡単にスマホやタブレット、そしてパソコンで、文字や写真・動画も記録でき、外出先からでも手帳に記録や閲覧ができます。

協力：なすみの里

介護ロボット

【介護現場のIC...】

眠りSCAN / Neos+Care
パラマウントベット社製 / ノーリツプレジジョン社製

見守り支援型のロボットです。ご利用者の睡眠状況などを手元のタブレット端末でリアルタイムで見ることができます。

協力：鈴鹿グリーンホーム

インカム

【介護現場のIC...】

インカム
KENWOOD社

トランシーバーにイヤホンをつけて使用しています。主にケアスタッフ間のコミュニケーションに使用しています。スタッフ間の情報共有や新人スタッフのサポート、フロア環境の向上など様々な場面で活用しています。

協力：安全の里



『「ショートステイ開所」積極的に介護ロボ活用ー』



積極的に介護ロボ活用

のテクノロジーを組み合せて活用していく。地域人たちが安心して活用し

ショートステイ 鈴鹿開所

北勢

Local News

北勢総局 鈴鹿市自由ヶ丘1-17-1-202
☎059(373)4110 FAX059(374)2104

きょうの指数情報

購読申し込みは
本社販売局
☎059(224)4400
フリーFAX
☎0120(26)3554

伊勢新聞 (2021.12.1)



『「ロボットのない介護に戻れない」—導入から5年、労働負担を軽減—』

「ロボットのない介護」に戻れない

導入から5年、労働負荷を軽減



衣服型パワーアシストスーツで腰の負担を軽減



介護ロボットの導入を進めてきた
原田さん（右）と古川敏基さん

福祉新聞 (2021.12.21号)



2021.11 介護味バットの新たな活用 装着型移乗支援ロボット「JーPAS」 をショートステイの送迎において使用

2021.12.10 高齢者住宅新聞社 「第7回 住まい×介護×医療サミット」登壇



2022.1.12 株式会社BlueOceanSystem、クレイトルや けやま様(新潟県)、高齢者住宅新聞社(取材) 「LIFEに関する意見交換会」



日経ビジネス (2021. 12. 13) 2021.12.13 日本経済新聞 「日経ビジネス 底流 介護データベースは助走中 遠いケア最適化」掲載

図表を保存

今春、インターネット上で一風変わったイベントがあった。「LIFE (ライフ) 入力選手権」。高齢者施設の職員が介護記録をいかに早く効率的にデータ入力できるかを競った。

LIFEは厚生労働省が「科学的介護情報システム」と銘打って2021年度から運用を始めたデータベースの取り組みで、全国約6万施設が参加登録した。介護記録を集め、ケアの効果を分析し、サービスの改善に役立てる狙いがある。

問題はデータ入力に手間がかかることで、現場から不満が漏れていた。選手権では、アンケート形式で質問に答えるだけで入力できる手作りソフトも登場した。主導した九州工業大学の井上創造教授は「データ入力でつまづく施設が多く、先進事例を共有するために開催した」という。

厚生労働省はデータ入力に応じる施設に介護報酬加算を上乗せし、IT (情報技術) 環境の整備に補助金もつける。躍起になるのは介護サービスの適正化が大きな課題になっているからだ。介護は勘と経験頼みで、客観的な評価が難しい部分もあった。「高い報酬を得るためにケアを上乗せする施設もある」とささやかれてきた。

日本の介護給付は年10兆円を超え、保険制度が始まった00年度の3倍以上に膨らんだ。財政は火の車だ。財源の半分を占める保険料は平均月6000円を超えた。「これ以上、上げるのは難しい」(厚労省幹部)との見方がある。

データベースをうまく活用できれば無駄をあぶり出せる。もちろん施設側にもメリッ

トはある。特別養護老人ホームなどを運営する鈴鹿グリーンホーム (三重県鈴鹿市) の服部昭博施設長は「今後、介護人材が足りなくなるのは明らか。ケアの最適化が必要な段階だ」と期待を寄せる。

まだ軌道に乗るには至っていない。9月下旬、厚生労働省の専門家会議ではこの先の展望を問う声が出た。今は苦勞して記録を入力しても、全国平均などの統計データが返ってくるだけ。ニッセイ基礎研究所の三原岳氏は「フィードバックがわかりにくい」と指摘する。介護の改善に生かす段階は遠い。

「数年後には個々人に必要なケアが例示できるようになる」という厚生労働省の説明に関係者は半信半疑だ。かたちばかりのシステムに終わるなら、貴重なデータも宝の持ち腐れになる。助走が長引くようだと、介護の適正化はかすむ。



2021.12 三重県社会福祉協議会
「みえ働きやすい介護職場取組宣言事業所」メッセージ動画」Web公開



【みえ働きやすい介護職場取組宣言】社会福祉法人鈴鹿福祉会～働きやすい介護職場に向けた法人の取り組みについて～

19 回視聽・2021/12/21



みえ働きやすい介護職場取組宣言
チャンネル登録者数 1 人

社会福祉法人鈴鹿福祉会の働きやすい介護職場に向けた法人の取り組みを紹介します。

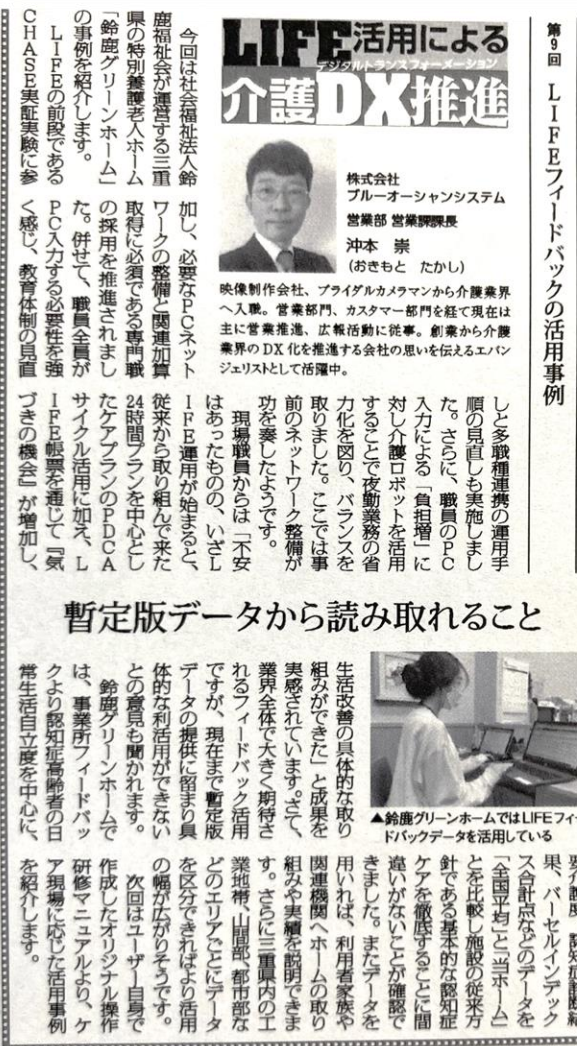
◆社会福祉法人鈴鹿福祉会

ちょっと見る

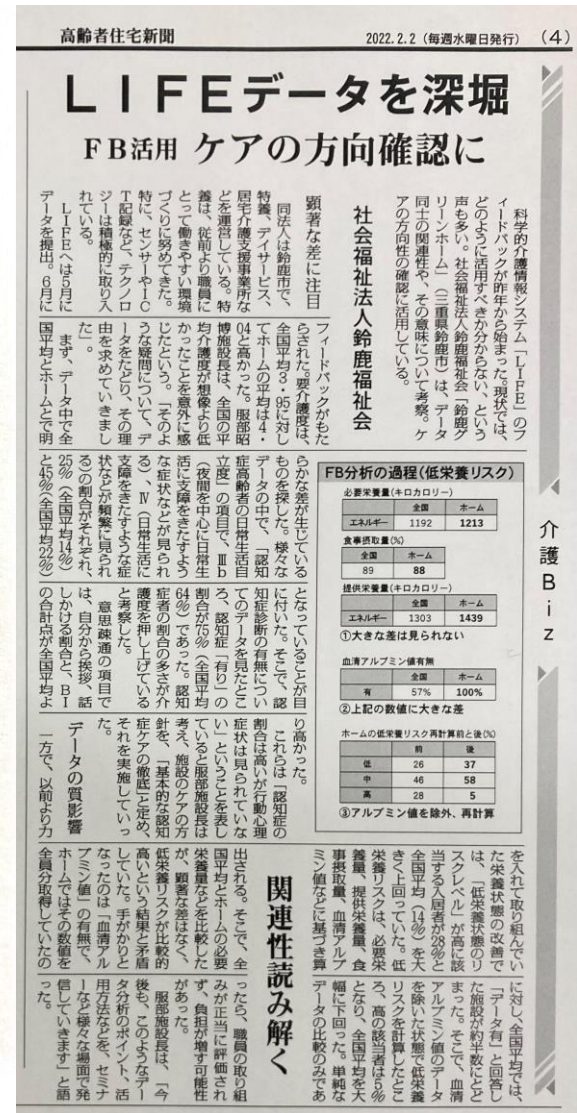
2020年度は「介護ロボット(見守り支援機器)の現場活用動画」を公開



2022.1 高齢者住宅新聞 「LIFEデータを深掘」掲載



2022.2高齢者住宅新聞 「LIFE活用による介護DX推進— 第9回コラム フィードバックの活用 事例—」掲載



2022.1 三重県・三重県社会福祉協議会 「みえ働きやすい介護職場取組宣言事業所」取組紹介集

みえ働きやすい介護職場 取組宣言事業所

取組紹介集



2022年10月時点

三重県・社会福祉法人 三重県社会福祉協議会

社会福祉法人
鈴鹿福祉会

法人所在地 〒519-0321 三重県鈴鹿市深淵町字北林2956番地
TEL 059-374-4600
URL https://suzuka-greenhome.jp/
取組宣言事業所 特別養護老人ホーム 鈴鹿グリーンホーム（鈴鹿市）
特別養護老人ホーム 鈴鹿グリーンホーム 短期入所生活介護事業所（鈴鹿市）
デイサービスセンター 鈴鹿グリーンホーム（鈴鹿市）

詳しい宣言情報は
こちら

取組宣言 働き方を改善して、仕事と家庭の両立を図る。

①テクノロジーの進歩が、
とにかくスゴイんです!!

KAIGO
×
テクノロジー

テクノロジーをつる活用し介護にチャレンジ

①ICT：インカム、介護記録ソフト、機能訓練情報
のウェアラブル端末管理、見守り支援
機器からの情報受信、オンライン面会・
研修・面談、計測体温の自動記録、
音声入力等

②ロボット：移動支援、見守り支援、排せつ支援、
コミュニケーション 10機種

③IoT：見守り支援ロボット、体温計測情報、排
せつ予測情報を1端末管理

②コンテンツ“盛りだくさん”の
ホームページ!

KAIGO
×
ホームページ

ホームページは大切なメッセージアイテム

年間30万を超えるページビューをいただいで
います。

ご覧いただいた方からは、よく、「ここまで公
開してもいいのー」と言われることがあります。
盛り①：「グリーンホームだより」
1日1記事のペースで記事を掲載して
います。ぜひ一度ご覧ください。

盛り②：「情報公開」
盛り③：「ワークライフバランス」

私たちの職場では、ICTやテクノロジーを多く取
り入れているんです。そのおかげで体力的や精神的
にとっても楽なんです。ホームページを使って、地
域の理解や安心感、職場内の風通しの良さを伝えら
れているなあと感じています。スタッフ一人ひと
りがワークライフバランスを意識して利用者とゆ
ったりと向き合える柔軟な職場です◎

鈴鹿グリーンホーム
ユニットリーダー タワラ・カ
三林 琴美 田中あかり

職員の声

2022.2 三重県老人福祉施設協会 広報誌「みえ老施協 vol.72」掲載

鈴鹿グリーンホーム

〒519-0321 鈴鹿市式部町字北林2956番地
TEL 059-374-4600

コンセプトは
「とりあえず、
やってみる。」

「みえ働きやすい
介護職場取組宣言」
項目の実行

ICT（情報通信技術）・
「介護ロボット」
のフル活用

活動は「ホームページ」で公開

全10機種

「ホームページ」で公開
1日1記事以上のペースで、ホームページの公開
活動内容はホームページで公開
→活動を広く知っていただき応援を

「みえ老施協」
「みえ老施協」
「みえ老施協」

当施設は、津市高
西町にございます。
宅前を抜けた地域の
敷地内にあり
通所・通所療育
グループホーム
診療所・保健
地域総合
なサービス
利用者様
ご提供
特に
利用
「思
主

vol.72

令和4年2月24日
三重県老人福祉施設協会

こあいさつ
我が家！施設・利用者様自慢
スタッフ投稿コーナー
Information
高齢者施設及び障害福祉施設の従事者
した新型コロナウイルス感染症に係る社
検査（PCR検査）実施概要
三重老施協加入施設・編集後記 等

2022.3 株式会社ジェイテクト様 ホームページ(協力:N&Fテクノロジー株式会社様) 「J-PAS fleairy 導入・体験者インタビュー」掲載



ABOUT KNOW MORE INTRODUCE PURCHASED
▶ J-PAS fleairyとは ▶ もっと知る ▶ 導入する ▶ 購入された方へ

ー田中様の現在の業務内容を教えて頂けますか

主に入浴介助です。他にも食事介助やおむつ交換をしております。
※田中様は鈴鹿福祉会様で9年のキャリアをお持ちとのことで、上記以外にもオールマイティにご活躍されております。

ー導入前に抱えていた課題、選定に至る経緯を教えてください

法人としては以前から装着型のロボットを導入し、使用をしていました。

今回、販売店様からフレアリーのお話を頂き、試してみたところ、職員からの評価もとてもよく、使用感も他のロボットに比べて全然違いました。
着脱も簡単、体の負担にもならない。お風呂場でもどうしても介助が必要な場面が多いのですが、フレアリーはお風呂場でも使用できるということがとても良かったんです。

今までの装着型ロボットは、一日中着けていても負担を感じないものはありませんでした。でもフレアリーはずっとつけていられます。

フレアリーは日常的にずっとつけていても、介助以外のお仕事もしやすくて。

フレアリーは日常生活で必要となる動作（しゃがむ、座る、歩く）などもしやすいことで、一日中着用していられますから、着けたり外したりの手間を減らせることも大きな魅力で選定の決め手となりました。



田中様(左) 田中様(右)



2022.3.31 CFロボタス様 ホームページ 「導入事例【J-PAS fleairy①】」掲載



アシストスーツ一覧から探す 特集&コラ

ホーム > NEWS >

導入事例【J-PAS fleairy①】

NEWS 導入事例をみる 2022年3月31日

「これいいね！と女性や年配スタッフの救世主に」

これまでの装着型スーツのイメージを覆すほどの使用感が導入の決め手に！



鈴鹿グリーンホーム様

特別養護老人ホーム

お悩み

- ・大柄な人の入浴介助で負担が大きい
- ・中腰姿勢が続く作業で腰への負担が大きい

業務内容

入浴介助
ベッド上での排泄支援やシーツ交換
移乗介助

事例提供：株式会社ジェイテクト様

当ホームの事例が2例（事例08・10）掲載

令和4年3月

利用者の状態に着目したフィードバックのケアへの活用

ポイント：ADLに着目して、全国平均との比較により自施設の特徴を考察し、特徴の見られた項目について、ケアを改善していく利用者の確認と改善方針の検討を行いました

※本事例は、社会福祉法人鈴鹿福祉会 特別養護老人ホーム 鈴鹿グリーンホーム様に図表を提供いただき、作成したものです。

取組のコンセプト：とりあえず、やってみる！（興味を持って触ってみる）

- ・鈴鹿グリーンホームでは、ケアの質を維持しつつ業務負担を減らすことを目的として、ケアの最適化に向けた取組を実施しています。
- ・「とりあえず、やってみる」のコンセプトのもと、様々なテクノロジーの活用を進めるとともに、PDCAサイクルを確率高く回すツールとしてLIFEを活用しています。

当ホールの職員配置

とりあえず、やってみる！（興味を持って触ってみる）

項目	【1】戸数	【2】戸数	【3】戸数	【4】戸数
大規模農家	4 (1)	4 (2)	0 (0)	—
うちかんきょう	3 (0)	3 (0)	4 (2)	—
畜産農家	5 (0)	5 (0)	1 (0)	—
大規模専業農門	2 (1)	2 (1)	2 (1)	—
他経営規模専業農	1 (0)	1 (0)	1 (0)	—
生活型兼業農	2 (0)	1 (0)	1 (0)	1 (0)
定年退職農	2 (1)	2 (1)	1 (0)	—
兼業農	1 (1)	1 (1)	0 (0)	—
【6】戸数と兼業農	1 (1)	0 (0)	0 (0)	—

[illegible]

出版：社会福祉法人社会福祉社会 特別養護老人ホーム、介護老人ホーム、介護老人ホーム

フィードバック（暫定版）を活用した自施設の特徴の把握

①利用者の状態像の傾向の把握

- まずは、利用者の状態像について、自施設の傾向を把握する目的で、以下の流れでフィードバック（暫定版）を見ました。

分析の視点

自施設の利用者の傾向の概要は？

確認のプロセス

以下の項目について令和3年10月の利用者の平均値を算出し、フィードバック（暫定版）の「全国平均と比較」

- ・平均要介護
- ・平均年齢
- ・障がい高齢者の日常生活自立度
- ・認知症高齢者の日常生活自立度

 晴つ海・空

全国と比較して、重度の利用者がやや多い傾向

- 平均要介護度：4.02 全国平均より0.06高い
- 平均年齢：88.3歳
- 障がい調査者の日常生活自立度B・Cランク^{※2}：全国平均よりも2割高い
- 認知症高齢者の日常生活自立度B、C、D、E、F、G、H、I、J、K、L、M、N、O、P、Q、R、S、T、U、V、W、X、Y、Z、AA、AB、AC、AD、AE、AF、AG、AH、AI、AJ、AK、AL、AM、AN、AO、AP、AQ、AR、AS、AT、AU、AV、AW、AX、AY、AZ、BA、BB、BC、BD、BE、BF、BG、BH、BI、BJ、BK、BL、BM、BN、BO、BP、BQ、BR、BS、BT、BU、BV、BW、BX、BY、BZ、CA、CB、CC、CD、CE、CF、CG、CH、CI、CJ、CK、CL、CM、CN、CO、CP、CQ、CR、CS、CT、CU、CV、CW、CX、CY、CZ、DA、DB、DC、DD、DE、DF、DG、DH、DI、DJ、DK、DL、DM、DN、DO、DP、DQ、DR、DS、DT、DU、DV、DW、DX、DY、DZ、EA、EB、EC、ED、EE、EF、EG、EH、EI、EJ、EK、EL、EM、EN、EO、EP、EQ、ER、ES、ET、EU、EV、EW、EX、EY、EZ、FA、FB、FC、FD、FE、FF、FG、FH、FI、FJ、FK、FL、FM、FN、FO、FP、FQ、FR、FS、FT、FU、FV、FW、FX、FY、FZ、GA、GB、GC、GD、GE、GF、GG、GH、GI、GJ、GK、GL、GM、GN、GO、GP、GQ、GR、GS、GT、GU、GV、GW、GX、GY、GZ、HA、HB、HC、HD、HE、HF、HG、HH、HI、HJ、HK、HL、HM、HN、HO、HP、HQ、HR、HS、HT、HU、HV、HW、HX、HY、HZ、IA、IB、IC、ID、IE、IF、IG、IH、II、IJ、IK、IL、IM、IN、IO、IP、IQ、IR、IS、IT、IU、IV、IW、IX、IY、IZ、JA、JB、JC、JD、JE、JF、JG、JH、JI、JJ、JK、JL、JM、JN、JO、JP、JQ、JR、JS、JT、JU、JV、JW、JX、JY、JZ、KA、KB、KC、KD、KE、KF、KG、KH、KI、KJ、KK、KL、KM、KN、KO、KP、KQ、KR、KS、KT、KU、KV、KW、KX、KY、KZ、LA、LB、LC、LD、LE、LF、LG、LH、LI、LJ、LK、LL、LM、LN、LO、LP、LQ、LR、LS、LT、LU、LV、LW、LX、LY、LZ、MA、MB、MC、MD、ME、MF、MG、MH、MI、MJ、MK、ML、MM、MN、MO、MP、MQ、MR、MS、MT、MU、MV、MW、MX、MY、MZ、NA、NB、NC、ND、NE、NF、NG、NH、NI、NJ、NK、NL、NM、NN、NO、NP、NQ、NR、NS、NT、NU、NV、NW、NX、NY、NZ、OA、OB、OC、OD、OE、OF、OG、OH、OI、OJ、OK、OL、OM、ON、OO、OP、OQ、OR、OS、OT、OU、OV、OW、OX、OY、OZ、PA、PB、PC、PD、PE、PF、PG、PH、PI、PJ、PK、PL、PM、PN、PO、PP、PQ、PR、PS、PT、PU、PV、PW、PX、PY、PZ、QA、QB、QC、QD、QE、QF、QG、QH、QI、QJ、QK、QL、QM、QN、QO、QP、QQ、QR、QS、QT、QU、QV、QW、QX、QY、QZ、RA、RB、RC、RD、RE、RF、RG、RH、RI、RJ、RK、RL、RM、RN、RO、RP、RQ、RR、RS、RT、RU、RV、RW、RX、RY、RZ、SA、SB、SC、SD、SE、SF、SG、SH、SI、SJ、SK、SL、SM、SN、SO、SP、SQ、SR、SS、ST、SU、SV、SW、SX、SY、SZ、TA、TB、TC、TD、TE、TF、TG、TH、TI、TJ、TK、TL、TM、TN、TO、TP、TQ、TR、TS、TT、TU、TV、TW、TX、TY、TZ、UA、UB、UC、UD、UE、UF、UG、UH、UI、UJ、UK、UL、UM、UN、UO、UP、UQ、UR、US、UT、UU、UV、UW、UX、UY、UZ、VA、VB、VC、VD、VE、VF、VG、VH、VI、VJ、VK、VL、VM、VN、VO、VP、VQ、VR、VS、VT、VU、VV、VW、VX、VY、VZ、WA、WB、WC、WD、WE、WF、WG、WH、WI、WJ、WK、WL、WM、WN、WO、WP、WQ、WR、WS、WT、WU、WV、WW、WX、WY、WZ、XA、XB、XC、XD、XE、XF、XG、XH、XI、XJ、XK、XL、XM、XN、XO、XP、XQ、XR、XS、XT、XU、XV、XW、XX、XY、XZ、YA、YB、YC、YD、YE、YF、YG、YH、YI、YJ、YK、YL、YM、YN、YO、YP、YQ、YR、YS、YT、YU、YV、YW、YX、YY、YZ、ZA、ZB、ZC、ZD、ZE、ZF、ZG、ZH、ZI、ZJ、ZK、ZL、ZM、ZN、ZO、ZP、ZQ、ZR、ZS、ZT、ZU、ZV、ZW、ZX、ZY、ZZ

※社会福祉法人社会福祉社会 特別養護老人ホーム 総合ケアホーム提供

各種計画書に着目したケアプランの見直しへの活用

ポイント：ケアプランの見直し時に各種計画書を並べて確認することで、以前のケアプランよりも多職種の見点が加わり、ご本人の希望するサービスや自立支援につながる内容に近づけた。

※本事例は、社会福祉法人鈴鹿福祉会 特別養護老人ホーム 鈴鹿グリーンホーム様に図表を提供いただき、作成したものです。

各種様式を並べて「なぜこのような評価になっているのか」を順番に考察

- ・ LIFEの利活用に關連して、栄養・口腔・排泄・褥瘡など複数の観点について、多職種が評価を行い、計画書を作成しています。
- ・ これらの計画書を施設ケアマネジャーが確認することで、ケアプランの見直しの際に、多職種による評価の視点を反映できるのではないかと考えました。
- ・ そこで、ある利用者の各種計画書を、まずは施設内の喫茶コーナーに並べてみて、気になった点にラインマーカーを用いていました。



- ・ 並べて眺めてみることで、以下のような事項に気づきました。

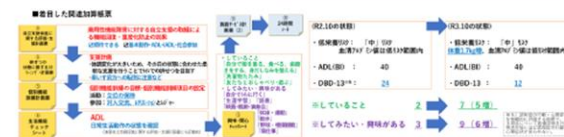
確認のプロセス

(下図の左側)

- ・ 自立支援の取組により機能回復・重症化防止の効果が「期待できる」項目はどれか？
- ・ 「期待できる」と評価された項目は？ 改善に際して、どのような視点で考慮が必要なのか？
→ 他者の様子の関心する項目はどのように評価されているのか
- ・ ご本人の希望や関心は？

(下図の右側)

- ・ 上記の項目は、どのように変化しているのか？



出版：社会福祉法人社会福祉社会 特別養護老人ホーム、介護サービスホーム運営

ケアプランにおいて、自立支援の観点から「していること」を維持し、QOLを含めた自立支援の観点から「してみたい・興味があること」を、日常生活の中に組み込めないかを考えました。

2022.3 三重県民の日 「県民フラワープロジェクト」協力 2022.4 イベント出席



令和4年県民の日 記念事業
【テーマ】**花と緑で育む地域の絆**

●**県民フラワープロジェクト**
【メイン会場】令和4年4月16日(土) 10時～11時
鈴鹿フラワーパーク(東エントランス広場)
「鈴鹿市制施行80周年記念事業 キックオフイベント」と協同開催
【サテライト会場】令和4年4月15日(金)から令和4年4月18日(月)
県内15箇所の道路や河川で花植えイベント

●**県内公共施設の無料開放等**
令和4年4月16日(土)から令和4年4月18日(月)
MieMu・県立美術館・斎宮歴史博物館など66施設で無料開放や割引等
記念事業の詳細については県ホームページをご参照ください。

三重県 県民の日 検索

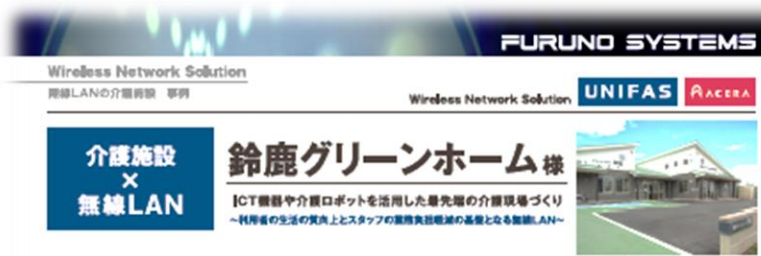
2022.4 N&Fテクノサービス株式会社様 「Webセミナー 介護品質向上と業務負担軽減の同時実現」 当会ケアスタッフのインタビュー動画配信



導入事例紹介動画(YouTube)



2022.6 フルノシステムズ株式会社様 「ショートステイ翠風における無線LANシステムの活用事例」



無線ネットワーク導入の背景

鈴鹿グリーンホームは、三重県鈴鹿市にある特別養護老人ホームです。1993年の開設以来、特別養護老人ホームをはじめ、ショートステイやデイサービスなど、地域に根差した介護福祉サービスを提供しています。

開施設最大の特長は、ICT機器や介護ロボットを活用した最先端の介護現場づくりを進めていることです。地域の高齢化の進行や働き手となる現役世代の減少といった人口動態の課題への対応として、2015年より介護ロボットの導入にいち早く着手しました。今では見守り支援ロボットや膝さすり手洗いロボットなど、合計11種類の介護ロボットが稼働しています。

ICT機器や介護ロボットの活用により、利用者の状況や質をセンサーで得た情報から瞬時に把握できるため、居室への訪問頻度の抑制や移乗のタイミングが的確につかえるといったメリットが生まれています。利用者のストレス軽減や心地よさの向上はもちろですが、現場で働く介護スタッフの負担軽減にもつながっています。

介護ロボットから得た情報は、スタッフが携帯しているタブレット端末やスマートフォンを通して集約される仕組みとなっており、介護ロボットと各種ICT端末を組み合わせた鈴鹿グリーンホーム独自のシステムを構築して運用しています。各種機器をつなぐためのネットワーク基盤として、安定した無線LANの整備が必須となり、フルノシステムズの業務用無線LANアクセスポイント「ACERA（アセラ）」を採用しました。現在、本棟と新棟に合計40台のACERAを設置し、日々の介護業務を支えています。

システム概要

ICTの活用により利用者のストレス軽減や介護スタッフの業務効率化を実現

◆ 介護ロボットから得た見守り支援情報をリアルタイムで端末に通知

無線LANの導入により、介護ロボットや各種センサーからの情報をクラウド上に集約できます。たとえばベッドマットレスの下に敷くように設置した体動センサー（安心ひつじ）では、利用者の呼吸や心拍、ベッド上の位置などを把握できます。天井近くの壁面に設置した見守りシステム（Neos+Care）は、利用者の起床や方角の転換を検知して通知してくれます。また、膝さすり手洗いロボットは関節部に貼ることで、関節の屈伸を把握できます。これらのセンサーから得た情報は、無線LANを介してスタッフが所持している端末にリアルタイムで通知され確認できるため、適切なタイミングで対応ができるようになっています。



◆ スタッフの業務効率の向上に貢献

無線LANが各フロアをカバーしているため、スタッフは施設内の至る所でICT端末を活用できます。スタッフが所持しているノートPCやタブレット端末には介護ソフトがインストールされており、入力した各種情報をクラウドサーバに一元化できます。また、デジタル体温計や血圧計で測定した数値も介護ソフトに自動的に記録されるため、記録や入力業務の負担軽減に役立っています。業務の合理化や効率化といった点でも、無線LANは多大な役割を担っています。



お客様の声

鈴鹿グリーンホームでは、利用者の方々の生活の質を高める手段として、ICT機器や介護ロボットといったテクノロジーを積極的に導入してきました。テクノロジーの導入に着手した背景には、これから訪れる地域の人口動態の課題がありました。今後20年で、鈴鹿市の生産年齢人口は約2割減ると言われており、当施設の職員数もそれに比例すると予想されます。一方で、要介護リスクを抱える75歳以上の人口は約35%増えるとも言われています。そのような課題に対して真摯に向き合い早期に手を打たば、介護の現場は成り立たなくなり、介護を必要とする地域の方々に満足いくケアをお届けできなくなります。

当会では、利用者の方々の自立支援力を入れて取り組んでいます。たとえばデイサービスでは、各種トレーニング機器やICT機器を活用したリハビリテーションやエクササイズの様子により、各個人の能力をできるだけ生かした健康促進を図ります。それにより介護予防につながるサイクルを構築し、健康寿命を延ばすお手伝いをしたい。そして地域の皆さんに介護サービスを行き届くようにすることが、私たちの目標です。

働き手となる世代の人口が減少する中、人手に頼るのは難しい状況です。その課題をアシストしてくれるのがICTであり、テクノロジーを活用して事業を継続し、良いケアを提供していきたいと考えています。サービスの質は落とさず、並行して職員の仕事を楽にしたい。両方の実現は矛盾するようですが、そのためにはテクノロジーが必要です。

システムの種類や変えるネットワーク環境については、サービスを展開していく上での「基盤」と捉え、機器やアプリ、デバイスなどは「モジュール」として基盤の上に追加実装していくイメージを持っています。これを実現していくためにも、フルノシステムズのアクセスポイントは最も重要なツールだと考えています。



社会福祉法人
鈴鹿福祉会
鈴鹿グリーンホーム

理事長 佐藤 昭博 氏 (左)

生活相談員 原田 景史 氏 (中央)

ユニットリーダー 方田 太志 氏 (右)

[2022年4月取材]

お問い合わせは
株式会社フルノシステムズ

本社 〒130-0026 東京都墨田区両国 3-25-5 JET 両国ビル

TEL: 03-5600-5111 (代)

www.furunsystems.co.jp

※本資料はあくまで参考情報であり、実際の運用には必ずしも適用できません。

[2022.4.10]

2022.9 小林史明代議士インスタライブ 「デジタル×高齢者福祉」参加



2022.10 株式会社ジェイテクト様YouTube
「【導入事例】社会福祉法人 鈴鹿福祉会 鈴鹿グリーンホーム様でのJ-PAS
fleairyご使用の様子を撮影させていただきました」



2022.11 三県社会福祉協議会
(三重県委託事業)
「みえ福祉・介護フェア2022」参画 (三重県老人福祉施設協会 会員として)

三重テレビ放送「NEWSウィズ」で報道



その他

2022.4

- ・株式会社フルシステムズ様：ICT活用にかかるネットワーク環境に関する取材(2022.4.27)
- ・エニカQOLソリューションズ様：実証事業報告、見守り支援システム等の現場活用に関する意見交換(2022.4.19)
- ・社会福祉法人慈童会様：インカム、ICT、介護ロボット等の現場活用に関する意見交換、見学(2022.4.19、27)

2022.5

- ・株式会社三菱総合研究所様：LIFEに関する意見交換(2022.5.11他)
- ・& Consulting Firm様：ICT、IoT等に関する意見交換(2022.5.17)
- ・株式会社ジェイテクト様：他施設へのパワーアシストスーツの運用状況説明(2022.5.18)

2022.6

- ・栃木県老人福祉施設協議会様「LIFE研修会(オンライン)」講師(2022.6.26)

2022.9

- ・国際医療福祉大学様：社会福祉運営管理論(オンライン)オブザーバー(2022.9～2023.1)
- ・長野県高齢者福祉事業協会様「LIFE研修会」講師(2022.9.29)

2022.10

- ・国際医療福祉大学様：社会福祉運営管理論(オンライン)講師(2022.10.21)
- ・ATCエイジレスセンター様・株式会社シルバー産業新聞社様 ウェビナー「介護ロボット・ICTの利活用」講師(2022.10.26)

2022.11

- ・福岡県老人福祉施設協議会 居宅介護部会様・次世代部会様「LIFEにより求められる事業所の変化」アドバイザー登壇(2022.11.11)
- ・三重県社会福祉協議会様(三重県委託事業)「みえふくし・介護フェア2022(特設Webサイト)」映画「つむぐもの」犬童一利監督とのオンライン対談(2022.11.12)

など

『ホームページ』で全て公開

1日1記事以上のペースで、ホームの日常などを公開

(3.3万ユーザー・年間30万ページビュー※、海外からのアクセスも)※令和3年度

『活動内容は全てホームページで公開』

～活動を広く知っていただく取り組み～

日々動きがあるホームページを目指し、私たちから積極的に中身を公開

「ええな～！」ボタンを設置しています。
ぜひみなさまも「ええな～！」してみてください。
い。スタッフも励みになります



社会福祉法人 鈴鹿福祉会 鈴鹿グリーンホーム [公式サイト]
(suzuka-greenhome.jp)





鈴鹿グリーンホーム

私たちは、地域に信頼されるべき
存在であり続けます

